京城日報
THE KEIJO NIPPO
大正七年三月二十日 (年中無休刊)
第三千七百六十九號 (一)
(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)
十九日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

獨逸東漸と極東

▲自主を得んとする露國民に同情

米大統領對勞兵會電報要旨

米國大統領が十一日露國勞兵會に發したる電報の要旨は『余は侵入し來れる獨勢力に抗し自由の爲奮闘しある露國民に對し米人の有する深厚なる同情を玆に披瀝す米國政府は目下不幸にして露國に直接且つ有効なる援助を與ふる事能はざるも其希望は之を失はず米國は今後露國が完全なる主權の獨立を恢復し歐洲及世界の事件に再び重大なる任務を遂行し得る爲め有ゆる機會を利用すべし米國人は專政々治を免れ自主を得んとする露國民に對し滿腔の同情を有す』と(華盛頓電報)

▲波羅的艦隊現況

過激派平和條約批准

十日ペトログラード通信に依れば露國波羅的艦隊の全部は目下ヘルシングフオールスに在り其水兵の大部は逃走し各艦には少數の監視兵あるのみにして弩級艦はクロンスタットに向ひ急航する筈なるも同港は多數艦隊の入港を許さゞるに依り艦隊の殘部は獨逸の勢力下に在る芬蘭に殘留する事とならんと又ネヴア河にはアウロラチアナ艦碇泊するも同艦には乘組員なく物品は悉く水兵が窃み去れり又過激派は多數を以てブレスト平和條約を批准するに決したるが如し(倫敦電報)

▲ト外相ペ市殘留

ペトログラード通信に依ればレーニン政府はペトログラード撤退トロツキーはペトログラードに殘留する(陸軍委員として)筈にて中立國外交團も依然同地に止まるに決せりと(倫敦電報)

▲芬蘭首相の逃走

ヘルシングフオールスに於て赤軍の爲拘禁されたる芬蘭首相は逃走し伯林に著せりと(倫敦電報)

◎追加豫算案提出

政府は十八日左の追加豫算案を衆議院に提出せり(東京特電)

大正七年度歲入歲出總豫算追加案

歲入 前年度繰入金六萬六千九百八十八圓

歲出 貴族院令改正に伴ふ歲費增加四萬一千六百八十圓(以上大藏省所管)

都市計畫調査設置費三萬五千三百〇八圓(追加第三號)

豫算外國庫の負擔と爲る可き契約に關する件(以上內務省所管)

前件提出理由說明

海外に於ける事業資金の供給を圓滑ならしむる爲め株式會社日本興業銀行の發行する債券に對し政府は元利支拂の保證を爲すの必要あるに依る

◎吉田少將一行

海軍軍令部吉田少將、横山大佐は十九日朝釜山通過北行の途に就けるが少將等は本溪湖、撫順視察の上都合に依り山東省淄川炭坑に向ひ四月末歸東の由なり(釜山特電)

◎國澤理事長動靜

國澤滿鐵理事長は十八日午後三時半公主嶺より四平街へ來著日支官民の歡迎を受け滿鐵各係を巡視し終つて四鄭鐵道局を訪問同夜官民の歡迎會に臨み翌十九日午前十一時三十分臨時列車にて鄭家屯視察の途に就けり(四平街特電)

◎米國鐵道技師

米國鐵道技師スチーブンス氏一行三名は十八日午後六時半來奉、同十時發列車にて長春へ向け出發せり(奉天特電)

東京より

在京一記者

獨逸東漸と極東問題(十一)

西伯利出動の効果

○昧者、國際戰局の大勢を察せずと雖も、動もすれば輙ち曰く、出兵可なり。我が敵は安くに在る乎と。嗚呼是れ何の言ぞや。聯合國との協約を破棄して我が敵國に屈服し單獨講和を締結したるものは誰ぞや。啻に敵國に屈服したるのみならず、敵國の俘虜を驅て東邦の平和を紊さむとするものは誰ぞや。彼の過激派の唱ふる社會共產主義の可否如何は、吾人の問ふ所にあらずと雖も、而かも國際的背信を敢てし、敵國と相聯結して、東邦の平和を破壞せむとする行動に至りては吾人は大義名分を明にして之を責めざる可からず。我が帝國が聯合國と協調を保ちて、西伯利方面に出動せざる可らざる所以のもの、まことに偶然ならざる也。

○蓋し、我が帝國の西伯利出動は東邦平和の爲にして、毫も他意なしと雖も、其の精神的結果に至りては、極めて重大なるもの無くむばあらず。即ち帝國出動の結果、露國を窺り、露國を亂したる過激派を掃蕩して、露國民衆の自覺的運動を促がし、露國の復活と統一とを促がするもの、其の一也。獨逸の東方經略の計畫に對し、豫じめ其の禍を未然に制するもの、其の二也。支那民衆の國家的覺醒を促がし、對支問題を解決するの端緒を啓くもの、其の三也。西伯利民族をして我に信頼せしめ、之に依りて、戰前戰後、西伯利の富源開發を促がすもの、其の四也。南滿洲鐵道、東淸鐵道、烏蘇里鐵道並に黑龍江、西伯利鐵道を利用して、歐亞聯通機關と爲し、將來の國際的平和に貢獻するもの、其の五也。獨逸の波斯及び印度侵略に對し、間接直接の牽制を與ふるもの其の六也。西部戰線に對し、聯合國に精神的後援を與ふるもの、其の七也。凡そ此の七者は、唯だ我が帝國陸軍の出動に依りて、其の効果を實現すべきものにて、帝國の將來に取りもて、聯合國の現在に取りても、吾人其已む可からざるを認めざる能はざる也。若し之に反し我が帝國にして躊躇逡巡、終に此の決心を敢てする能はざらむ乎、帝國は聯合國に對して、啻に協同作戰の意義を徹底せしむることを得ざるのみならず、帝國は東邦に對する使命も、將た國防線に對する自衛の方策も、或は之を全うする能はざるに至るべし。是れ吾人が切々偲々、反覆痛言、當局者に對して其の決心を促がし、國民に對して其の猛省を乞はざるを得ざる所以也。

◎總督天機奉伺

天皇、皇后兩陛下には十八日葉山より還幸啓相成たるに就き長谷川總督は十九日午前九時三十分電報を以て波多野宮相を經て天機並に御機嫌を奉伺せり

◎兩殿下天機奉伺

天皇、皇后兩陛下には十八日東京へ還幸啓あらせられたるにより李王李太王兩殿下は天機並に御機嫌奉伺方を長谷川總督へ申出でられたるを以て總督は十九日正午右執奏方相成りたき旨波多野宮相へ電報を發せり

◎赤十字總會

日本赤十字社第二十六回通常總會は來る五月二、三、四日の內を以て皇后陛下の臨御を仰ぎ奉り日比谷公園內に擧行する由

◎定例長官會議

十九日午前九時三十分より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督臨席各部長官參集諸般の政務に就き協議する處ありたり

◎鮮人間島移住

本年に入り益々增加

昨年多來北鮮地方鮮人の間島移住は例年に比し夥だしく殊に本年に入りてよりは

▼一層盛ん にして陸路鏡城、羅南、輸城を經由して北上するものと海路淸津に出で鐵道にて北上するものと目下增加しつゝあるが陸路よりするものは咸北道南部なる鏡城、吉州、明川、及び咸南、端川の各郡地方人にて何れも家財を背負ひ或は牛車に載せて國道筋を北し輸城より汽車或は徒歩にて間島に到るものにて本年一月頃までは汽車便に依るものと徒歩とが相半ばせしも二月頃よりは汽車便に依るもの多く

▼最近にて は牛車も牛諸共輸城より汽車に積載し輸送するの有樣となれり而して昨年十一月より本年一月迄の間輸送通過移民は約百五十戶一千餘人に達し二月に入りては中旬以後毎日百人乃至百四五十人の通過者あり二月中にても二千人以上に達せし模樣なり又た海路よりするものは咸北城津及び咸南地方並に平安南道黃海道地方人にして多くは海路淸津に出で汽車にて北上するものなるが毎航沿岸船にて淸津に上陸する此等移住民は數十名より

▼百數十名 に及び二月十八日以降三月十日に至る廿日間の上陸者にても約一千名に達せり斯くの如く本年移住者の增加せるに就て調査せる所に依れば咸北道南部地方は昨年稀有の旱魃なりし上害蟲の被害甚大にして農作物は平年の半作にも及ばざりしより昨今穀價非常の騰貴を唱へ且つ諸物價の騰貴は非常の生活難を訴ふる折柄間島地方は白隆元小麥等の穀價未曾有の高價を呼び好景氣なりとの風說を聞き間島移住を企つるものにて渠等は先づ間島に赴き

▼親戚知己 に就て同地の事情を調査し然る後移住するを以て無鐵砲に移住し直に糊口に窮するものゝ如きは無之由なり(淸津)

◎鑛業許可件數

本年一二月中に於ける鑛業許可出願件數は一月三百六十九件二月四百三十六件合計八百五件なるが同期間處分總件數は三百十三內許可を與へられたるもの一月八十三件二月七十七件合計百六十件其他の處分件數百五十三件なりと

◎京城府租稅納入好績

京城府に於ける本月十八日現在租稅徵收狀況を聞くに租稅合計調定濟額九十九萬八千五百三圓、收入濟額九十九萬零百二十四圓欠損額一千二百六十二圓、收入未濟額七千百十七圓にして此の收入步合九割九分一厘を示せり而して敍上の收入未濟額に對しては本月中に其の整理を了する豫定なりと今各租稅に就き調定收入濟狀況を示せば左の如し

▲市街地稅 調定濟額十八萬二千二百五十一圓收入濟額十八萬一千四百九十二圓缺損額七百五十六圓、收入未濟額無し此の收入步合九割九分六厘を算せり

▲家屋稅 五萬五千四百三十四圓の調定濟額に對し五萬五千四百十九圓の收入あり缺損額十五圓此の收入步合九割九分九厘

▲所得稅 調定濟額十六萬六千八百十圓に對する收入濟額十六萬五千四百六十四圓、缺損額無し收入未濟額一千三百十四圓此の收入步合九割九分二厘を示せり

▲酒稅 調定濟額四萬四百六十三圓、收入濟額三萬九千九百七十八圓缺損額四百六十三圓收入未濟額二十二圓、此の收入步合九割八分八厘

▲煙草稅 五十三萬七千零四圓の調定濟額に對し五十三萬一千九百四十二圓の收入あり缺損額二千八十八圓收入未濟額五千零三十四圓此の收入步合九割九分五厘

▲鑛稅 一萬六千四百八十四圓の調定濟額に對し一萬五千八百二圓の收入濟額を示せり缺損額無し收入未濟額六百八十二圓此の收入步合九割五分八厘

▲雜稅 調定濟額五十七圓收入濟額五十七圓缺損額なく收入未濟額なし

即ち是れに依つて之れを見れば前述の如く合計租稅平均收入步合は九割九步一厘にして京城府に於る租稅納入成績は年と共に漸く良好の域に進みつゝ在り

◎辭令

十八日附左の通り辭令ありたり

總督府道事務官平安北道第二部長 木島茂
依願免本官 六級俸下賜

朝鮮總督府道事務官 三浦 一
任朝鮮總督府道事務官 敍高等官七等 九級俸下賜 全羅南道在勤を命す

朝鮮總督府道事務官 小松淺五郎
平安北道第二部長を命す

朝鮮總督府道事務官 今村邦典
京畿道在勤を命す

朝鮮總督府警視 朴容鼎
依願免本官

九州要地歷訪(二)

釜山にて 別府生

◇春色漸く動く

◆永同驛以南も機關車不良のため列車は頻々徐行並に停車を續け釜山驛著は十六日午前八時三十分と相成り候、乃ち規定時間を遲るゝ事正に三時間、氣永に吾等の列車を待ちゐたる連絡船對馬丸も遂に二時間以上の延著と知り、痺れを切らして不接續の儘下關に向へる旨三浪津にて承知仕候、車中の小言一切り泡立つ、愛嬌ある專務車掌はいかにも氣の毒さうの面持ちなりしが、然も止むを得ざる也、內地行きの數百名の乘客は夜航の羅丸を釜山にて空しく待つの外なきに至り候

◆吾等の列車の大遲延は、午前六時四十分釜山へ到著すべき滿鮮直通列車にも累を及ぼせし由にて、結局二列車乘客の釜山停滯を見し譯也、釜山宿屋の繁昌想ふべし、又更に京城方面より午後七時に著すべき列車の乘客を停滯客と共に合せて收容し、今夜下關に航行すべき新羅丸の混雜想ふべし、小生は支局の龜井氏と會談後電車によつて東萊に赴き候

◆釜山東萊間の電車は搖々殆んど耳も聾せんばかり、且つ動搖激しく、輕快なる電車の乘心地は何處にも之れを見出す能はず候、電車と云はんより田舍式の輕鐵と稱するを當れりとすべし、數年前の輕鐵時代と即今の差を車體のみに就て見れば僅に機關車の有無並に特等並等制を廢し車中平等にせしのみとなすも見當違ひにあらざるべき乎、改善の餘地多し、唯乘客少なからず往くも歸るも滿載の姿なるは會社のために喜ぶべしと存じ候

◆釜山東萊附近に於ける楊柳の芽は將に破れんとしつゝあり、無風好晴、春日融々、近來稀れなる天氣と承はり候、村落の竹林田圃の紫色に霞みて南鮮の春色漸く動きつゝあるを觀る、京城附近より餘程季節は進み居るやうに候

當地にて聞く所によれば京城紳士團二十名十七日東萊及び釜山を訪問せし由、釜山の有志はその歡迎方法に鳩首凝議せし由なるが御馳走並に美形を差出したのみでは、何れも京城の御膳立揃ひ、何等興を惹かざるべければとて、頗る思ひ切つた而して突き込んだ催しが十九日の夜東萊旅亭に有之候由

◆其の奇抜な而して突き込んだおくは報ずる事は或は風俗壞亂の虞れあり、或は賤々の御家庭中若干の波瀾を惹起するなきや保し難きに付態と差控へ申し候、尤も紳士連の御歸京後知れ渡る事とは存じ候

◆やと、書いてゐる內、龜井支局主任よりドンナ都合からか京城紳士團の來釜は無期延期となりし旨承はり候、その上は別に事々しく報ずる必要無之きが、唯釜山有志に此種の計畫ありし事のみでも折角付茲に報じ置かん候、匆々

◎內田大使入京期

奉天通過二十日朝入京は廿一日朝か

歸朝の途にある內田大使一行は本社長春支局特電の如く無事滿洲里を通過し十八日夜哈爾賓に到著せるが更らに哈爾賓特電に依れば同大使一行は十八日夜哈爾賓著客車ホテルに分宿の上十九日朝發南下の筈なりと報じ更らに奉天本社支局よりは一行は二十日朝奉天通過の筈なりとの特電ありたれば此の報にして誤りなしとせば一行は廿日夜安東縣著二十一日朝入京の事となるべきも未だ發著時間の確定は保し難し

▲別報 其の筋著電に依れば內田大使一行十九名は支那公使館員一行三十八名と共に十八日無事哈爾賓著以後の旅程は不明なりと

◎支那滿蒙煙草爭覇戰

最近奉天に支店を設け着々滿蒙進入の計畫を策しつゝある上海スタンダード組合花旗烟公司の活動は同地方の製煙業者をして震駭せしめつゝあり右につき頃日入京せる某專門家の談によれば該花旗烟公司を目して英米トラストの別働隊の如く報ずる者あるも事實は

▲全然別箇の 關係のみならず寧ろ英米トラストに對する露骨なる反對派と見るを以て至當とすべきなり、英米トラスト側の言ふところに據れば、花旗烟公司は資力の薄弱なる小煙草業者の團結に過ぎず、豎子何をか爲さんと表面平靜を裝ひ居れるも內心頗る恐怖しつゝ多大の注意と警戒とを以て是に臨み居れるものゝ如し、又スタンダード側にては、由來英米トラストは自家の勢力を以て販賣市場を常に左右し居れるのみならず葉煙草に對しても

▲壓迫を加へ 或は極端なる買控へ等を爲して煙草業者を困惑せしむるの結果、大多數葉煙草業者の奮起となれるものなりと言ひ、更に彼等一派の豪語する所に據れば米葉今日の全產額の約八割は花旗烟公司の掌中にあり而して之を除く一割二分が英米の所得、他の八分が一般製煙業者に公布さるゝものなれば、原料の豐富にして優良なるものは吾が花旗烟公司を措いて外に無しとあるのみならず、且又製品としても勞働者向きの所謂苦力煙草あり、パイレート級あり、金口あり、コルクロあり

▲更に五十本 鑵入の如き武器を具へ居れば其の勢力侮り難きものあり、然かも今は準備時代にして各地特約店の設置、紙看板の撒布等盛んに活躍しつゝあるに對し英米側にても細心の注意を拂ひて警戒しつゝあるは事實なり、然して玆に特筆すべきは英米トラストの奉天支配人ブルクース氏花旗烟公司の奉天支配人クロリー氏の兩者が倶に純粹の亞米利加人にして且つ機智縱橫の辣腕家たることにして兩社の競爭は日を逐うて

▲激甚の度を 加ふるに伴ひ支那滿蒙に於ける日英米華の四國煙の爭覇戰は此れより隨所に演ぜられ以て世人の注意を喚起するに至るべしと(某氏談)

◎田中遜平氏と鞄

見附けた者は郵稅先拂で本社へ

濟南日報の田中遜平氏が、十九日朝九時五十分南大門驛發の汽車に乘込む爲、驛の二等待合室で見送りの客と應酬中、テーブルの上に置いた赤革の手提鞄が何時の間にか、紛失した百方搜索したが遂に見附らなんだ、中には何も金目のものはないが記類を始め、旅行中各種必要な材料が入れてゐつた、取られたか間違へたか知らぬが其人に取つては、何の價値もないが、失つた田中氏には、指の一本も切られた以上の苦痛であらうか。此の鞄が見當つた人があつたら、郵稅先拂で、京城日報宛に屆けて貰ひたい、中の品物で目ぼしいものは、支那風の帳面に書いた田中氏の旅行日記、各地で面會した諸名士の名刺に軍票が一枚其他各種材料である

◎阪谷男來鮮期

支那財政顧問阪谷芳郎男は二十二日東京出發朝鮮經由北京に赴任すべく多分廿四日入京二泊の上廿六日南大門驛發北行すべしと

◎高柳少將總督訪問

歸朝の途次十八日夜入京したる高柳陸軍少將は十九日午前九時半總督府に長谷川總督を訪問し入京の挨拶を爲したり

◎鈴木騎兵監退京

騎兵隊檢閱の爲來鮮中なりし鈴木騎兵監は十九日朝南大門驛發列車にて退京內地に向へり

◎松川中將晚餐會

松川軍司令官は十九日午後六時三十分より官邸に於て晚餐會を開き十八日夜入京したる高柳少將を招待す可く市川軍參謀長釜屋高橋兩武官岡本師團參謀長其他も列席す可し

◎古海總長招宴

既報の如く古海警務總長は十八日午後七時朝鮮ホテルに民間の重なる者並に記者團を招宴したるが撤宴後天一の奇術等あり主客十二分の歡を盡して散會せしは九時半頃なりき

◎早川少將入京

第三十九旅團長早川新太郎少將は十九日夜入京巴城館へ投せり

◎古海總長出張

古海警務總長は警察事務視察の爲め往復六日間の豫定にて十九日朝出發新義州鎭南浦兼二浦黃州の各地へ出張せり

彼れ此れ

◆加州法務局長の、報告に依れば、同州の結婚數は、一昨年に比し、昨年は三千四百四十三組の增加を見たりと。日本にては、戰爭と云へば、打死する覺悟にて、出征近くに、結婚などをする軍人は無きに、米國にては、之と反對と見ゆ。初菊若し加州に生れたらんか、嘸喜びし事なるべし。

◆支那にては、洪憲帝制犯梁士詒を始め、朱啓鈐、周自齊等三人は、愛に特赦され、やがて三月十六日附を以て、湯度亦赦免となり、次で康有爲亦赦されたり。而して更らに、復辟犯の首領張勳亦、近く赦免さるべしと。之をこそ眞に、待ては甘露の日和とや謂はむ。

◆土耳古は、ボスフオラス海峽の一鐵橋と隧道を造り、歐亞を聯絡せんとし、既に洪牙利ブタペストの一會社と、工事受負の契約を結び、來る四月より、工事に著手すべしと。土耳古政府は、君府は最早大丈夫なりと、安全の勝を墅めし爲か。我關門道路の如きも、何時よりも、速に實際の、出現をこそ望ましけれ。

人事消息

▲野手耐氏(釜山稅關長) 十九日朝入京不知火へ

▲熊本市會議員一行 十九日朝內地へ向出發

▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭) 十九日朝入京旭館へ

▲飯島宗平氏(大倉組山陽製瓦所長) 十九日朝入京天眞樓へ

▲小崎眞一氏(同技師) 同上

▲市川省氏(大連安部商店員) 同上

▲增田直一氏(同大崎商會員) 同上

▲沖賀研則氏(三井物產社員) 同上

▲大橋次郎氏(赤十字社主事) 二十二日より濟州支部管內に出張四月五日歸京の筈

▲宮舘貞一氏(警視) 二十日より尾ノ道市へ出張

▲國枝博氏(總督府技師) 咸興外二縣へ出張中の處十六日歸任

▲神野忠武氏(總督府事務官) 十七日より釜山地方へ出張

▲谷多喜磨氏(水產課長) 十七日より釜山へ出張

◎外國婦人受賞

平壤在住マリー、エム、カットラー孃は赤十字社の救護事業資中に十五圓卅三錢を寄贈したる篤志に依り此程赤十字社長より木杯一個を贈呈さる

◎以文會春季大會

以文會春季大會は十七日午後一時より貴金町貴族會館に於て開催出席者は會長李完用伯を始め朴泳孝、朴箕陽、李熙斗、翟永年、鄭萬相、鄭丙朝、古海總長、持地長官、久芳、草場、成田、江原の各幹事にして午後三時宴に移り席上書家安心田、金谷元兩氏の揮毫並に久芳幹事の長篇、鄭萬相、翟永年其他諸氏の唱和等ありて盛會裡に五時散會したり

十一月一日現行

●狂氣馬が手綱を

＝解かれた樣な露西亞＝

その背後の手！側面の手！

國民に大なる覺悟なかるべからず

進露從軍武官 時乘少佐談

私は大正四年からあちらに居たが昨年三月の革命以前とそれ以後の露西亞とはまるで隔世の感がある露西亞では今地主とか資産家とか軍隊の將校とかいふものが小さくなつて勞働者や兵士が大威張りである、現に先日も日本人にお馴染のクロパトキン將軍が

▽パン買ひの 群集中に並んでゐたといふはなしもあつて以前世に時めいた將軍や大官などが尾羽打ち枯らしたみじめな境遇に陷つてゐる、元來露國の社會は瓢簞の樣なもので唯だ上流と下層民とがあるばかり日本のやうに中流階級といふものがない、それで上流は日本の人が想像もつかぬ贅澤を極めて居るかと思ふと

◆下層民は豚の やうに生活して居るわれ〳〵が以前露國の百姓にでも口を利くと伴れの露西亞人は不快な顔をしたものである、それが今日は如何であるか以前威張つた上流社會はあはれ落魄の底に陷つて居る、現に街頭の掃除人夫などは將校や上流の夫人などが多く將校の夕刊賣等も珍らしくない、實に變れば變つたものである、しかし作らよく

▽此の原因を 見ると露西亞の社會主義思想の澎湃たる流れはその由來する處久しくこれまで無理に威力を以てせき止められて居たのが突然堤防を決して滔滔となつた次第である、されば今では敵國獨逸との關係などは何うでもよく唯だこれまでの腹癒しに上流階級を虐めてやれといふ風に見ゆる、露西亞は今

◆狂氣馬が手綱 を解かれたかの觀がある、何處までも〳〵、放たれたる馬は蹴づく處まで馳せ廻らねば止まぬと思ふ、よく日本の人達は露西亞の國情を日本と同一の樣に考へて居られるやうである、其政府も日本と同一のものと考へ國土も亦地圖にある通り統一されたものと思はれる人が尠くない、然しながら露國の

▽尨大な國土 は決して日本に居る人達が想像されるやうな統一あるものではない、今の露西亞は先日獨立して勝手に講和した小露西亞の如きドン地方の如きフインランドの如き皆個々別々に立場や利害を異にしてゐる、されば將來獨逸の勢力によるか、但しは聯合國側の後援によるかどちらか

◆或外國の勢力 を借りて強くなつた地方が露西亞聯邦——假りに出來るとすれば——の盟主となるであらうと思ふ、しかしそれも何うなる事か豫想された譯のものではないが唯だ獨逸の勢力が非常のものになるだらうといふ事だけは想像がつく、露西亞は今のまゝでは何うしても獨逸の勝手にされる運命を有つ從つて西伯利亞方面にも獨逸と露西亞と

▽一緒になつ た勢力が東漸して來るであらう、さうなれば纔り西伯利亞鐵道線のみでなくアルタイ山脈を越ねて天山路を通り支那の中原に突出する日がないとも限らぬ、兎に角露西亞は今メチヤ〳〵になつたが其の背後にある恐るべき勢力を忘れてはならぬ、今日は何うでも或は十年の後日本は非常なる國難に遭遇せぬとも限るまい、加之ならず

◆東方からは米 國の勢力が波濤のやうに打ち寄せて來るではないか、現に今日の露西亞に於てすら米國の資本は滔々として流入して居る、此の頃わが出兵問題の噂さに米國が氣を揉んでゐるのは誠に理由のあることで或はカムチヤツカ及び西伯利亞鐵道が米國の手に入るかも知れぬとの風說もある、今後日本は獨米兩國の勢力に板挾みとならねばならぬ、國民は大に覺悟すべき秋である

△友人セミヨノフ大尉

なに滿洲里のセミヨノフ大尉か、あれは私の高架索での友人だ、それも私は這回滿洲里に著くまで知らずに居たが會つて見て驚いた、滿洲里にわれ〳〵の

◆特別列車がつくと 一人のカザツク大尉が訪問して來たのでよく〳〵見るとそれは私の舊知大尉であつた、セミヨノフ大尉は今滿洲里方面で露軍のオトマンとなつて居る、オトマンとは日本で云ふ頭目の意味でカザツクにはむかしから

◆總望のある人をば オトマンにする風習がある、只今滿洲里でもセミヨノフ大尉の下には中佐や大佐などの高級な將校が働らいて居るがこれは現時反過激派として立つた亂脈時代の現象たる他に一面カザツクの舊慣によるものと思ふ

◇春雨煙る街

●セバストポルに日本婦人

＝取殘さる

小畑マス子談

露都在留の日本婦人は大使夫人等四五名に過ぎませんでした戰爭が始つてから實業家が奥さんを御連れして參りましたから一時は多う御座いましたが昨年の十月頃第一回

▽引揚 の際に三四人歸りましたので又寂しくなりました、露都に居る日本婦人の生活と申しましても活動か劇でも觀に行くより外に何も慰めとなるものは御座いません、まあ樂しみと言へば時々小さい集りをして罪のないお國自慢でもしながら

◇刺身つきの日本料理で も喰べる時であませう

今度哈爾賓に參つた荒木中佐などは活潑な方でしたから七田中佐のお宅に來られると日本料理を御馳走せんかなど、宜く申されました中佐が御歸朝の前の晩も一所に私の料理で日本料理を召上がられました、社交界へは前の

▽大使 の本野さんの御夫人は盛んに出られまして八面玲瓏とでも申しませうか社交振りの華やかであつた爲め大分評判も宜しう御座いましたが內田大使夫人は參られてから日も淺い上にあの騷ぎとなりましたから社交界へは殆んど出られなかつた模樣でありました日本婦人は露西亞紀行とか申す本に書かれた婦や

露國人兵になつた人など は揃も名も知りません

◇一日本婦人の取殘されたるノーウエ・シメーズ◇

何でも婦人兵になつた婦は稚さい時から露西亞人に貰はれて行つた人とかで露西亞の名前でありましたから誰にも知られなかつたのですが後で負傷して冬宮か何處かに收容されて居る時に某將校に

▽電話 をかけたので始めて解つたのださうです其外に元滿鐵の創設當時鐵道技師として滿洲に來て居た事のあるスピーギンと言ふ紳士に連れられてセバストポールのウノウエンメーズに居る岩本ツタさんは

國元が不通とかで歸るにも歸られず多分お國に

で御座いませう、食物は大使附の方は政府から種々のものを送つて來ましたから黑パンを嚙るやうな憂目には遭はなかつたのですが其他の人々は喰ふにも喰はれず隨分難儀をして居りました

因に小畑ます子は當分仁川在日本郵船株式會社在勤の林氏宅に寄寓する由

●クールヌーヴ火藥大爆發

クールヌーヴ地方に二箇所の大爆發起り火藥の爆音巴里に迄達したり死者十六名猶多數死傷者あり(巴里電報)

◉河野中將逝去

山口縣都濃郡下松村に療養中なりし河野通好陸軍中將は遂に十七日逝去されたり(山口特電)

◉船長を殺し

積荷を橫領す

犯人四名捕縛

神戶にて帆船賀保丸船長を船中にて殺害し積載玄米八百俵を陸揚して賣却せんとせし犯人濱田德一、大島元吉、佐藤萬太郎の三名今回其筋に捕縛されたるが彼等三名は共同手段にて既に前後三名の船長を殺害して積載貨物を橫領したるものなり(大阪特電)

◉神社の獨立は出來る

通牒と氏子制度

十八日官報に宮通牒第四十號を以て內務部長官より府所在地道長官宛神社寺院規則施行後府は神社經營の能力無きを以て從來神社に對し神社費又は神社供進費として府費より支出せるものは來年度より豫算に計上す可からず必要あるに於て寄附することは已むを得ざるも

◇可成速かに神職 維持方法を確立せしめ漸次寄附額を減少せしむる樣處理せしめられ度しとの意味の通牒を發せり右に就き京城神社神職は『從來府より受けた補助が五百圓供進金が二百圓であつたが一昨年神社規則なるものが發布されて神社も一つの財團法人として認めらるゝ樣になつた以上府費より支辨を受ける事は出來ないのは當然であらうと思ふ現在

◇當神社の會計は 年額八千圓內外で內四千圓は賽錢其他の收入、一千圓は李王職及び朝鮮貴族よりの寄附氏子より二千五六百圓、それに府の補助及び供進金が七百圓と云ふ事になつて居る、其內賽錢及び奉納金は毎年增加の趨勢にある事であるから今府の補助が無くなつたとしても維持は出來る譯であるが『從來の補助とか供進金とかで支出して居たものを

◇來年度から寄附と 云ふ名義に變更されたゞけの事で事實金高に於ては何等の變りもない。漸次減少して行く考へでもない』と談り居れり。

◆春雨煙る街

▽柳の芽も膨らむだらう ▽艶めかしい紳蛇目の傘

いかに彼岸に入つたとはいへ、少し暖か過ぎると思つてゐたら十九日の朝になつて雨が降つて來た、最初に降り出した九時過ぎには大粒なのが御山に地面を叩きつけたれども、次第に小降りになつて十二時前後には細ら〳〵通りの絲のやうな春の雨とかはつて行つた、そして一時頃には全く止んだがそれでも空には灰色の密雲低く垂れて四方の山の峰を半ば覆うてゐた、この僅かな雨にも急に芽が伸びるだらうと思はれる南大門通りの街路樹の柳の間を往來する紳蛇の目傘の持主が艶めかしく見えた

◉驛員の慘死

倭館驛構內にて

十七日午前十一時十分頃釜山より京城に向け進行中の混合列車が倭館驛構內に停車せんとする際驛員大津儀一(二七)は誤つて線路內に顚れ慘死せり

◉秋庭判決言渡

前東洋拓殖會社大邱出張所主任秋庭直吉の業務橫領事件に對する判決は十六日大邱地方法院に於て懲役一年六月の言渡しあり

◉ヌクテ三頭捕獲

慶北慶州警察に於ては十七日午後四時頃慶州郡川北面東川里山中に於て『ヌクテ』三頭を捕獲し其の措置に就き慶北警務部に伺ひ出たり

◉妻子を撲殺す

務安郡石津面馬山里金安淡(三七)は兼て精神に異狀の形跡ありしがこの程後妻を撲殺し十七日夜妻及び昨年生れの男子を撲殺し逃走せしが十八日午前七時務安邑內にて駐在巡査の爲め逮捕せられたり(木浦)

學校の卒業式

▲醫學專門學校 京城醫學專門學校にては二十六日午前十時より第二回卒業式を擧行すべし

▲善隣商業學校 善隣商業學校にては二十日午後二時より本科第一部(第三回)及び第二部(第十一回)並に夜學校科(第十回)卒業式を擧行

灯ともし頃

十九日京城通過內地に向つた西伯利歸客の談に▲私は三月十五日イルクツクを出發しましたが途中列車の中は西部戰線から歸還した軍人や勞働者で非常な混雜をしてパンも滿々喰ふ事も出來なかつた▲何處の停車場に降りても食物を賣つては居ないのです。私はお腹が減つて仕樣がなかつたので大勢の居る中で『貧乏臭い處だ』と口走つた▲處が傍に居つた一人の露國軍人が『什したのか』と訊いたので朝からパンを喰ない事も出來ないそれで私は非常に困つてゐると言ふと件の軍人はおや一片遣らうと言つて謝るのも利かずパンを出して呉れた▲次の驛へ著くと其處には種々な食糧を賣つて居たので私は群集を押分けてやつと買ふ事が來たから其の軍人にも分與てやると非常に喜んでそれからは懇意に話すやうになつたが途中で別れる時『君達は國家の爲めに働いた人々だ君等が露國人民の中堅となつて確乎働かねば國は亡びて了ふ故郷に還つたらば父母を塗炭の困みから救つて遣り給へ』と言つて握手すると其の軍人は淚を零して『有難う貴樣のやうに言つて呉れる人は一億萬の露國民中只の一人もない』と言つて別れた▲兒惡無礙のやうに思はれて居る彼等露西亞軍人の中にも慈しい優しい軍人が居る所を見ると彼等に國民の後援さへあれば國家の干城として立派な働きをするに違ひないと考へられた

朝鮮總督府醫院

看護婦數名募集

資格ある看護婦にして希望者は本人直接來院ありたし

讀者文藝(一等には五十錢の賞券を呈す)

▲川柳『眼鏡』

嫁のあら眼鏡で姑よく探し (一等) 仁川本町四丁目日下部方 矢谷蒔碗坊

掛けてから釣り出す利子の眼鏡なり 利川 沂 先

買かぶり眼鏡違ひと惜がり 南山町 川島

金縁の眼鏡といふ多男にかけ 全州 多佳山人

◉懇切な注意の方に 十八日夜阿部本社長の宅に電話にて懇切な注意を申込みし人あり殘念にも其姓名を聞漏らせしが今後とも遠慮なく氣附の事もあらば注意ありたし

讀者文藝課題及び募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢書籍券を呈す▲[illegible]

大阪期米

△十九日後場 ▲當限寄付 [illegible] 七錢と撥ね四錢と押し五錢二節八錢七錢六錢七錢 十四錢より二錢と押し五錢三節五 六錢より四節六七錢を採み合ひ結局七錢と打止めたり

仁川米豆取引所

十九日の五月限 二十一圓[illegible]

◉連絡船上陸客

十八日午前釜山入港さくら丸二等客 一等(ヘ九名)中澤居則、杉浦良作、同和特林[illegible] 根次郎、新藤一助、有馬源吉、同武友、奥野正河部さき、遠藤謙、山崎五三郎、同菊、森清吉長谷川さわ、山本藤英、關口久、三吉末、桑原さら、同清男、中尾敏吉、內野久雄、松原孫一郎、安藤心吉、宮本彦左衛門、芥川久、江見勝[illegible] 發吾、岩下統造、森原かく、中谷直情、石川秀之助、森田乙女、黃家榮、菅原今年、木村清太郎、富永熊市、上田直吉、松浦騎吉、松田安五太郎、山崎くに、奥野清之助、[illegible]、大月勝太郎、阪本啟、小川すみゑ、同ふさゑ、廣木重[illegible]、岩田千ず、[illegible]

天氣 小雨後曇り

商況

東京期米特電

十九日後場 一番 二十六圓六十六錢 二番

兵庫期米

十九日前場 先限寄付 二番 二十六圓二十五錢 三番 二十八錢

大阪株式時電

	十八日	前場
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品時電

十九日前場寄付 三月限 三六六、五〇 四月限 三七三、一〇

大阪期米特電

十九日前場寄付 [illegible] 二六、[illegible]

下關期米特電

十九日前場 [illegible]

綿糸布手堅し

大阪三品は昨前場に期近は多少安値保合なりしも先限は三百八十一圓九十錢の現物は半票十六手三百四十五圓[illegible]綿布は龍二十一[illegible]シー現物十一圓三銘四十五錢と更に五錢高なり

◉粗布の其後

內地綿系布界の活況に連れ當市場も[illegible]又一齊に色めき[illegible]區々の唱へ[illegible]市中に於ては粗布二十一エー一票の三百二十三圓迄確實に取引行はる

◉正米無活氣

[illegible]氣迷ひ[illegible]時局問題の潜[illegible]下落[illegible]人氣の割に[illegible]商內[illegible]

◉色豆益々強硬

內地色豆は一時船貨の品[illegible]米國の好作[illegible]

各地商況

▲大邱(十八日)▲正米 居据り 前日以來穀の賣物減切況退ぜるも手持筋揃ひも揃つて先高見越しにて思惑心頑る強固なれば少の付値では賣氣を催ふし難く現在品約百萬餘叺は半月餘り一向荷動きせず[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人

全昌田仲買店

仁川海岸町三丁目 電信略號メツ 振替京城三八一 電話長一八一一九

證據金壹百石に付金壹百圓 御注文は[illegible] 紹介を不要候 事業案內及市場略觀を送呈

▲外米不採算

前年十一月よりの外米買付額は約百五十萬叺[illegible]

仁川期米

▲十九日前場 保合頭重し

▲第一節 兵庫二十六圓二十五錢 大阪天候晴天前寄二十六圓二十九錢と昨止同事の二十一圓九十五錢と六錢高に寄付き[illegible]

仁川取引所

十九日の五月限 [illegible]

期米通信

本社の通信は適確に米價の高低を指示し加入者をして買に賣に勝利を收めしむるを公言す

仁川電報社 仁川仲町二丁目 振替京城四九七七 電話仁川百七十一番

疑ふものは試に御加入せよ我社通信の正確と權威を覺らん

◉鮮白下押す

玄米及び日本人向白米は軟調ながら前日來持合の姿なりしが鮮白は一時行過ぎの反動として更に下押し模樣を呈せり今朝の見當は上品二十四圓八十錢中品二十四圓二十錢下二十三圓八十錢と前日より又々二十錢安を唱へたり

下關相場

[illegible]

◉上進し大豆

[illegible]

▲小豆

[illegible]

◉大豆は漸落

[illegible]三十錢安[illegible]

◉大麥次第安

[illegible]十錢安の見當なり

南大門の廻穀

[illegible]

仁川正米

▲朝來の降雨にて入津なく商內も行はれず ▲正米[illegible]

釜山穀物(十八日)

[illegible]

生魚市場

[illegible]

市場

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町二丁目 令 仲買店 電話一六〇二番

仁川米豆取引所仲買人 園 仲買店 電話二八二長二八三 電略シ又は(カタシ)

●ブラゴエチエンスクに於ける
衝突の原因は斯うであつた
◆日本自衛團と過激派の反目から
◆過激派の横暴に對して奮起したる結果である◆

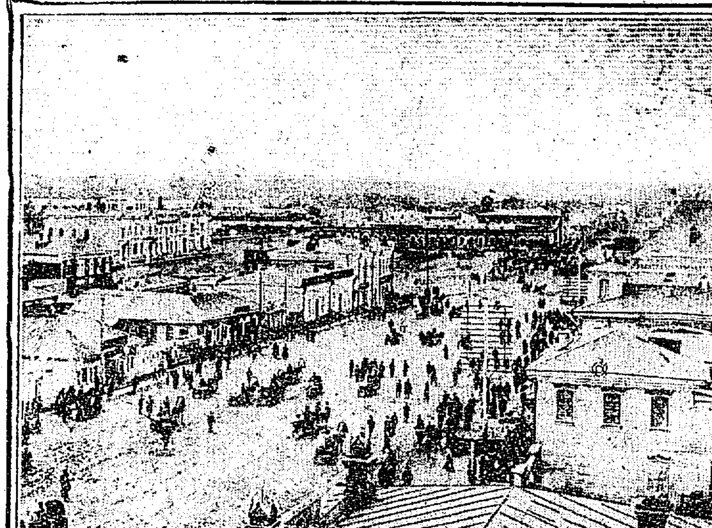
去る九日邦人が露の過激派と衝突したブラゴエシチエンスクは什麼處か、ブラゴエは黑龍江の中流、支那黑龍江省の愛琿の北方にある、支那人は之れを海蘭包と呼んでゐる、最近の情報によれば同地の日本自衛團は横暴なる露國過激派の爲めに三名戰死し重傷者七名を出したといふ、昨今極東露領は殆んど過激派の天下となつたがブラゴエシチエンスクも御多分に洩れず過激派が優勢となつた、然るに先日のこと同地の反過激派の首領エーボ新聞主筆ランデツシユ氏は反對派に捕へられたが更らに

◆島田黑河日本人會長が
奪還して來た

といふ爭ひもあつた、それやこれやで遂回の如き衝突を招いたものと見ねるブラゴエシチエンスク!! 此所の名はよく北鮮通ひの汽船中浦鹽から元山、淸津に還る朝鮮人の口から傳へられる名稱だ、ブラゴエ附近殊にゼア河流域の一帶は古來有名な砂金の産地、浦鹽方面から此の方に出稼ぎに行く鮮人はむかしから盛んなものであつた、淸津方面からブラゴエに往くには先づ浦鹽からウスリー線でニコリスクに出で同地から更らに黑龍線で北進しなければならぬ、汽車が無ならば黑龍江通ひの汽船もある、猶ほまた滿洲方面から往くには昨春から哈爾賓に出て更らに齊々哈爾から馬車で七日間の道程である、ブラゴエの人口は十數萬、實に

◆黑龍江の流れに沿うた
天惠厚き市場

である、日本人は以前三百八十餘名居たが昨今はまだ〳〵增加したことと思ふ、此の地は匪賊事件に當つて五千の支那土民が露人の虐殺にあふた處である、此の頭は江を距てた對岸に支那領の大黑河村が出來て盛んなる支那街となつて居る、將來若し日本の手に黑龍江の航江權を掌握するとあらばブラゴエは實に有望なる邦人の發展地である



◆ブラゴエチエンスク 中央十字街（前方の大江は黑龍江なり）

●本溪湖の石灰業
統一愈々成立
◆滿鮮南支に販路擴張◆

既報の如く本溪湖に於ける石灰製造業は從來四五の者の個人經營にして互に競爭上其の品質の粗惡を顧ざる有樣なりしが今回同地同業者間に覇を稱へつゝありし中和公司主野中貞范氏は大に悟るところありて之等同業者の權利を全部買收し約十萬圓の資金を投じて事業の統一を計り製品の改善は無論事業上にも大革新を加へて工業建築の二方面に一大貢獻を計らんと著々準備中なりと尚製品は滿洲全土朝鮮及び上海方面に亘り販路最も有望なり

●重晶石と鉛鑛
◆南滿洲に於ける

◆バリウム 普蘭店附近の重晶石を原料とする滿洲バリウム株式會社は曩に現滿洲バリウム合資會社關係者の手によつて發案せられたものだが遂に成立に至らなかつたので鑛區所有者松崎林兵衞小出英吉氏等は無條件にて石本鏆太郎氏に持ち込んだため石本氏は更に左藤至誠中村敏雄氏等に經營立案を依囑したが用途廣汎なるバリウムの製品販路相當に有望であるが原鑛の如何によつて計畫の程度を異にするものだから現在の鑛區で果して十萬噸あれば可いが什麼か一寸素人の推算に過ぎぬので過般來都督府の手によつて鑛量探査中であるその結果として鑛量充分と決した曉には會社設立の計畫を進め從來普蘭店に設置されてある工場は原鑛よりも加工に用ゐる硫酸が危險物として多大の運賃を要するといふので大連へ移轉することゝなるが孰れにせよ遠からず何とか決定されることだらうと想はれる

◆南滿の鉛鑛 は近來に至つて非常に注意され鉛や亞鉛鑛の樣なもの、發當を頻りに傳へられて居るが現に試掘或は稼行中のものは僅かに奉天省本溪縣の吉祥峪鑛區鳳凰縣康莊子寬甸縣六皮菜溝鳳城縣旋嶺の四箇所であつて他の十箇所は目下廢鑛となつては居るが古來土法によつて度々採鑛精錬した事があるけれ共、鑛床の不規則狹小によつて大規模の稼行の適當しないので殆ど地方的需要を充し得なかつたやうであつた今もし南滿各地から鑛石を運搬して來なければならないので到底利益を得る見込みはないから有望なる鑛床の新發見でもないかぎりは産地の多い割合に其の實質に至つては有望といふ事は言へないだらうと思ふ

●チタン鐵鑛か

金州在住邦人某は此の程金州驛東方山地に於てチタン鐵鑛と思はるゝ鐵塊を發見し該鑛石の分析方を滿鐵中央試驗所に依賴したる由なるが若し果して該鑛石がチタン鐵鑛ならば滿洲は元より內地に於ても珍らしき發見と云ふべしチタン鐵鑛は六六晶系に屬し小晶と成りて岩石中に介在し色は鐵黑色にして黑色なる條痕を存し硬度は五乃至六成分は FeO, TiO_2 にして容易に鹽酸に溶解せず砂に混じて產出し我國にては從來特に產出地と稱すべき處なしと

●米麥輸出制限

朝鮮米麥輸出制限に對し朝鮮總督府と都督府との間に交渉の結果都督府の希望容れられ官廳證明の下に無制限の輸出を許可せられたるに對し都督府にては十六日附府令十三號を以て左記の如く戰時中米及び大麥の輸出制限令を發布す

戰時中米及び大麥の輸出制限に關する件

戰時中關東州及南滿洲鐵道附屬地より米及大麥の輸出を禁止す但し滿洲及蒙古の本邦人の食料に供するものにして所轄官署の許可を得たるものは此の限りに非ず、前項の規定に違反したる者は三月以下の禁錮又は百圓以下の罰金に處す

附則 本令は公布の日より之を施行す

●シベリア譚（二）
◆滿目荒涼の天地に 而かも捨すべき情趣あり◆

◆西は夕燒け 東は夜明け

鐘がなります中空に……」西伯利亞の天地はあれで却々情趣に富んだ所だ、むかしから露西亞本國の流刑人が歩いた曠野、復活のカチユーシヤもネリユードフ侯爵も西伯利亞に點綴する哀話の一員である、汽車は後貝加爾のチタを出て哈爾賓から約一千哩も來た頃バイカル湖畔に出る、これまで沿道萬里の曠野

◆千里の森林 に倦みたる旅客はまた結氷せる此の半月湖の壯觀に驚くであらう、氷上にはボルセリコからニコルスク兩地一千四百四十七米突間を汽車が通る、曾て日露戰爭前には湖上を二隻の碎氷船が聯絡して居たが今は百九十六哩の湖畔迂廻線が出來て、その間三十餘の隧道をくゞるのも時にとつての興趣である、冬のバイカル湖は

◆氷原天に接 するの壯觀であるが夏のバイカル湖は碧瑠璃の湖面繪の如き光景である、湖畔はむかし漢の蘇武が牧羊したといふ歷史もあり蒙古のダライル及び支那の謂ゆる北海はこれである、此の湖はまた亞細亞第一の巨大なる淡水湖で面積一萬四千方里、水深は平均八百五十呎、最深は七百九十一尋に達すると稱せられる、魚類は鮭、鱒その他いろんなものが居て獸類には

◆海豹も游ぐ 每年十二月から翌年の五月まで厚さ四五尺の堅氷にとざされてその周圍は高い岩山が突兀と聳わつゝ圍みつゝ針葉樹の大森林が千古の沈默を續けて居る、またこのあたりには所々に溫泉の出るところもあつて露國の移住民はライ麥、大麥、馬鈴薯等を培つて居る、湖水に流れ落ちる大小の河流は一條アンガラ河の出口からイエニセイ河につゞく、河を下ると哈爾賓から一千五百六十七哩のイルクツク市となる

◆茲に注意す べきは從來歐露の移民は此のバイカル湖以東にてはあまり成功して居ないことである、これに反し日本、支那、朝鮮人やブリヤート、韃靼人などは此の湖東に多く落著いて居る、バイカル湖は正しくヤブロノイ•スタノボイ兩山脈と共に極東露領に於ける一大障壁たるかの觀がある（奉天）

●滿洲里方面に
支那兵動く

支那陸軍第二九師獨立騎兵第二九旅長は洮南駐剳の步兵及び第一四團の騎兵を引率して滿洲里に向へりと某方面に入電あり（四平街）

●鴨綠江の流氷
十七日より初る

過般來の暖氣にて解氷しつゝある鴨綠江は十五日の大湖にて鐵橋附近より中の島方面一番に大龜裂を生じ十七日より流氷を見たりと同樣の取締りを勵行しつゝあるが今後は尙一層嚴重の取締を施すとの事なり（平壤）

料理の秘訣（三）
何から何まで利用
◇工夫すれば捨てる物はない

經濟料理と云ふ事は一面から見れば無駄の無い料理法であります同じ一尾の鯛を買つても經濟思想のない者が料理すると頭や尾などは捨てゝしまふが經濟家になるとなかなかそんな勿體ないことは致しません頭や尾なども ちゃんと取つておいてそれを

◇煮出汁 にしたり大根や里芋の煮込みに使つたりまたは頭や骨を一緒にしてスープの材料にしたりなどいたします魚の骨などは普通何にもならぬものゝやうに思はれてゐますがあれを煮出汁に使ふと鰹節なぞの及ぶところではありません鯛の頭なぞは上々の方で鹽鮭の頭なども一鹽鹽ぬきにして使ふとそれはそれは結構な料理となるのでありますから

◇この邊の氣の用ひ方一つで一家經濟の上に非常な相違を生じて來るのであります獸肉などの場合に就いて申しても家庭の惣菜料理に用ゐるものならばせい〳〵肋肉や小間切り肉で結構なものです少し工夫して料理をすればロースやヒレ肉に劣らぬやうな結構なものとなります高い原料で料理する分ならば何でもないことで別に手腕も何も要りません

◇安い原料で美味しい料理を拵へることはなか〳〵骨が折れることです、けれどもそこが一家の主婦たるもの、力でございますから工夫の上にも工夫して經濟料理を研究せねばなりません西洋料理の主なるものとなつてゐるライスカレーなどは實に廢物料理なのであります工夫の仕方一つではあゝも美味くいたゞけるものであります料理に用つた

◇葱や人蔘や葱の屑や肉の切れ端した物を始末する爲めのライスカレーでございますから云ふ風に何から何まで利用して行くのが經濟料理の本旨であります手近い話ですが一本の大根でも大抵のお宅で捨てゝしまふ莖や葉をとつておいて莖の方は漬物に葉の方はしごいて味噌汁の實にしてもよろしければ或は

◇日に乾して菜飯の材料としたり野菜の無いときに味噌汁の實にしたりすれば結構ですそれに大根の乾葉は大層身體を溫めるものですから朝鮮の寒中などは何より結構ですこれはたゞ大根だけに就ての話ですが少し心を用ひると何に品に限らずそれ相當に利用の道は廣いものでございます

白山黑水

▲滿洲や朝鮮には滅多に地震が無いと云ふ十五日の朝河成に大きな地震が急に起つたので日本人も支那人も喫驚して居る▲支那人は地震があると兵亂が起ると昔から確たく信じて居るから今度の地震も兵亂の前兆であろうと恐れて居る▲遼東地方にも昔から地震が無かつた譯ではなく可成に大地震が有つて金州では家屋が倒壞して人畜夥しく死傷した事も有つたそうだ▲例の出兵問題で大連では盛んに流言蜚語が行はれて居る默つて聞いて居ると吹き出すやうな事もある▲噂に由ればモウ日本軍は四五十萬も西伯利亞に繰り出した事になつて居るこれでは露のロスキーと大差はない

金鶴香水

營業品目
パナマ帽
麥帽子
メリヤス類
クレツプシヤツ
靴下
手袋類
織物
洋服附屬品
其他雜貨

御取引は極めて懇切に取扱申候間多少に不拘御用命願上候
歐米雜貨直輸卸商
合名會社 大崎組商會雜貨部
大阪市東區安土町四丁目
電話本局長 二六〇六番 二六〇七番 二六〇八番
振替口座 大阪二二一九番 東京九三三九番

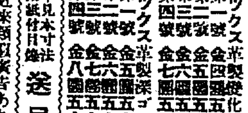
三月二十日より
新柄帯側陳列會
竝にセール、洋傘
三中井吳服店
京城・大邱・釜山

たびは國譽を召せ
履めば誠に格好に不平の起らぬ
國譽たび
大阪市東區平野町五
國譽たび本店

諸公債株式及現物賣買共御便利に御取扱申上候間御用命の程希上候
公債株式現物問屋
東京株式取引所仲買人
東京市日本橋區坂本町貳番地（第一號前）
㊍ 細野傳次郎商店
電話浪花 四八六八番 四〇九六番 五〇三番 市場專用五一五八番 振替口座東京一二七〇七番 電信略號（ホ）又（ホ）

心ある御母上
様方にお子方の皮膚の衛生と美の爲め美顔ユーマロを勸め奉る

信用ある東京三金の靴



ボックス革製編上靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
ボックス革製強化靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴 第一號 金五圓五十錢 第二號 金六圓五十錢 第三號 金七圓五十錢 第四號 金八圓五十錢
革見本寸法用紙付目錄 送呈
近來類似廣告あり御注文の際は東京三金に御注意を乞ふ
以上の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造したる品なれば一般實用紳士靴として好適品なり御注文の節は靴代と足袋の文數を前通知あれば代金引換小包送料實費にて送附す
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六〇九番 振替東京七一九五番

外科皮膚科 瀬戸醫院
京城旭町二丁目（香三丁目） 電話二四九八番
（診察夜九時迄）
醫學士 瀬戸潔

仁川期米 ◇十九日後場 寄變らざる入電にて中二十一圓八十七錢先八十五錢を四錢安に寄付

塚原卜傳

第二十一席　悟道軒圓玉口演

武士は笑つて　小『貴様達は十五六人も睹つて其武士に叶はぬか』○『へエ御覽の通り、酷い目に遇ひました』△『アハヽヽ活地のない奴だな、鐵見ろ此奴等の頭を』鐵『成程之れは妙だ、皆な髷節を失なして居る』○『何だか知りませんが天狗見たやうな野郎でございます』小『併し察い奴だな、虫類同然の雲介ではあるが却々息のある人間を悉う一人で自由に出來るものではない、大膽な事をする男だな』鐵『如何にも此技術は凡々でない、話せる男だ』○『さう先方を賞めちやア不可ませんどうか一つ助けてお呉んなさい』小『よし助けて遣はすが其男が茲を立去てより間があるか何うだ』○『へエ半時ばかりも經ちましたやうで』小『何うだ鐵之れから其者の跡を追駈け、心憎い仕方なるに依つて其技術の程を試して見たい』鐵『ウム面白い、我々共今日まで諸國遍歴いたしたが手に立つ奴が一人もなく心細く思つて居た處、漸く骨のありさうな男に出逢つたのは何よりの喜び、さア小島急いで追駈ろ』小『心得た』兩人焚火を踏消し小屋の表へ飛出した　雲介は驚き○『モシお武家樣纏を解いて行つて下さいまし、モシお武家樣……』と泣聲を出して頼むを耳にも入れず　小『貴様達の纏を解いて居る中には時刻が延びろ、岐路を下つて岐路へ外れては探すに困難だ、後から誰か來るだらう、其れまで雨叩きになつて居ろ』と言捨て兩人足を揃へ、トツトツ〳〵と雨の中を麓の方へ一散に駈けて行く、驚いたは雲介縛られたまゝ何うする事も出來ず聲を上げて泣出した弱い奴等で、追駈けた二人の武士は何者であるかといふに越後國春日山の城主上杉彈正少弼輝虎入道謙信公の家臣一人は鬼小島彌太郎、一人は鐵上野介

を切つて驅著けた前記の兩人、彌『アイヤ御修業者少時お止り下さう……』小『ハア拙者に何か御用で……』彌『貴殿でござらう先刻此鳥居峠の山頂で雲介共を珠數繋ぎにいたし其上髷節まで切り取られたは……』小『アハヽヽ左樣でござる、雲介共が無禮を致すに依て鳥渡懲しめのためにいたしました』彌『見事なる御技術、定めし一流一派の達人でござらう我々も武道修業の者通り懸て雲介共より貴公の御手練を聞及び、之までお跡を慕ひましてござる、山中と申し甚だ失禮ではござるが一手お手合せを願ひたい』小『之れは恐入りましてござる、若年と申し未熟者却々貴公方のお對手には……』上『イヤ只今も同僚の者の申す通り、我々修學のためでござるに依つて是非共一手お立合を願ひたい幸ひ雨も歇み折からの月の出を灯に代へ是非とも御立合下さるやう』小太郎迷惑に思ひ　小『御言葉ではござるが拙者も少々急ぎの者山中と申し何分迷惑に存じますれば折角の御所望なれども御辭退申したい』彌『其れは近頃卑怯でござらう、武士たる者が辭を卑くしての所望、山中と仰しやるが武道の修業に山中夜中の嫌ひはない筈、但し我々の形相に恐れ給ふならば是非に及ばんが、左樣に逃支度をなさるのは卑怯といふものでござる』

といふ豪傑、主君の命に依て諸國を遍歴し、家々の弓矢の强弱、或は領分の要害を探り、又は隱れたる武道の者を訪ね出し主家へ仕へさせ其勢ひを増すといふ戰國の頃は之れを武者修業と稱して重大な役目を持つて居りましたもの、如何なる豪傑かと兩人宙を飛んで塚原の跡を慕ふ、此方は小太郎勝義足早に峠を下つて麓の路をドン〳〵急いで來ると後から『オーイ〳〵』と聲を懸けて追駈けて來る者がある　小『ハテナ外に往來の者はな

人參エキス

京城本町壹●電話一四八〇番・一八七〇番　**㋡津村兄弟商會**

女髪　元祖 生徒募集　日本全國於美髪教授三ケ月卒業　京城本町一丁目婦人高等美髪學會　▲會則郵劵三錢送附あれ送る

牛乳　衛生的 新鮮 滋養 バタ ルテ 御用　京城東四軒町　**岡野牧場**　電話一〇六九番

りん病　消渇で困る方手切る秘藥を　三錢送れ自宅で秘密に治す秘藥を人助けに無代でお致へ致し升　名古屋市南かしや町　武藤愛吉

三月廿一日　九星
舊二月九日　丁卯
本命七赤　西　建　佛滅

演藝案内

有樂館　活動寫眞常設館　電話(局上)五九七番

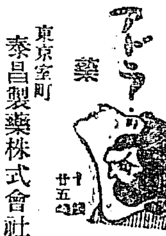
稲荷座　本町五丁目　電話二三一八　當る三月十九日より開演　▲第二蝶々會一行

大正館　電話八七三

壽座　京城壽町　電話五七八番　世界的大魔術　松旭齋天一一座出演

黄金館　電話二二六三七・二二六六　天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店

強胃消化錠　**アナタの胃病にはマーゲン**　大木田博士御處方　島田博士御鑑査　本劑の特色　大阪市東區上本町五丁目　畑田保藥房



目藥　**アイ・ラ**　東京室町　泰昌製藥株式會社　高峰博士發見の高貴藥アドリナリンを主藥とす　二十五錢　各地藥舖にあり

陸軍拂下　並に官衙拂下品諸防一切　衣服袴下、靴下手袋被服一切　京城府漢江通三　電話長三三六番　**佐藤古着店**

在庫品賣却廣告　コンパン、コンデンシング　蒸氣機械　高壓汽罐　低壓汽罐　衛程　振動、宝蔵……　有力の御方は御相談に應す可く候　**山中商店**　平壤大和町　長電話八四一

金鈴香油　**金鈴煉香油**　一滴千金　漆黒にして發育をます

苗木販賣　山林用苗、果樹苗、各種ニセアカシヤ各種澤山あり　盆栽、庭木、桐各種　草花種子は特價を以て發賣仕候　其他庭園造築請負　仁川梧峴驛前　**華王園**　北垣林之介

菓子職人　四名至急入用　平壤南門通　井上日韓堂

各位　今井秀甫　京龍社中　池坊生花盛花春季大會來る三月二十一日より二十三日迄三日間新龍山卿町陸軍階行社に於て社中會開催仕候間御隨意御覽被下度候也　龍山漢江通

良く擦り込むこと

クレームレートが●分子の細かさ●質の艶やかさ●匂ひの佳さ●凡てが現今のクリーム中で第一品の高評を得てゐますことは皆樣が御承知ですが特に御使用の際萬遍なく指頭でよくお擦り込みになればなる程お肌と融け合つて眞に生々した美しいお艶となりアレや日焦けの心配が少しもなく又お化粧下、男子のお髭剃後等にも無上の美膚料です

レート化粧料本舗　東京　平尾贊平

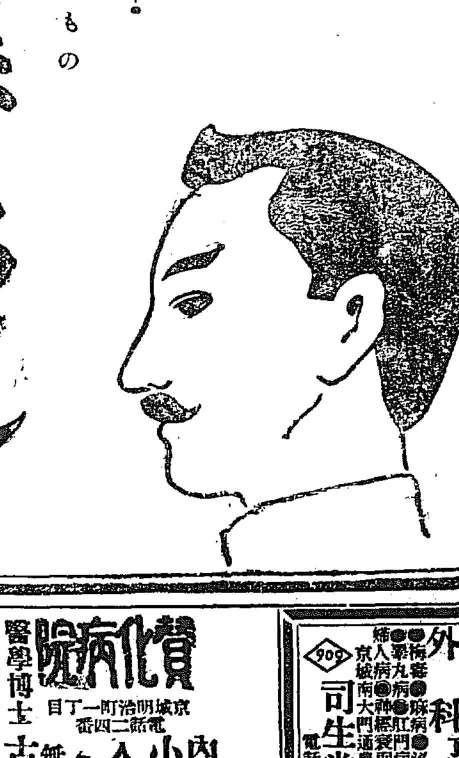
試驗！

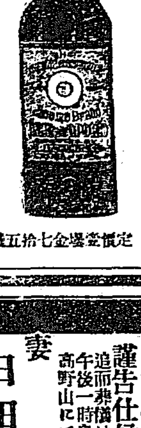
吾に於て何かあらん　頭腦の明晰！　元氣の横溢！　見よ是れ本酒常用の賜もの

蛇の目印ポートワイン

衰弱より……健康に　健康は……益强壯に　朝、晝、晩、缺さず召上れ

●全國到る處の和洋酒食料品店及藥店にあり





定價壹圓七拾五錢

發賣元　㋕　大阪市高麗橋　**松下善四郎商店**

花柳病專門外科　●梅毒●麻病●淋病●尿道狹窄●軟性下疳●横痃●痔疾●脱肛●神經衰弱●ヒステリー●婦人病●その他　京城南大門通東一銀行前　**司生堂醫院**　電話三〇六五番　〈909〉

賛化病院　京城明治町一丁目　電話二四一番　內科・小兒科　入院隨意　每日五名を限り無料施療す　醫學博士　古城憲治

深田愛藏儀永く病氣之處昨十八日午前三時死去致候間此段生前辱知諸君に謹告仕候
追而葬儀は明後二十日午後一時自宅出棺新町高野山にて相營み申候
　　妻　　深田ヌイ
　　　　　日田嘉吉
　友人　岩見伊勢松
　總代　森田益太郎
　　　　　長崎喜市

汽車　京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）　京元線（北行）　同（南行）

京城日報

二十日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價 ▲一部金二錢五厘 ▲一ヶ月金五十五錢 ▲前金三ヶ月… 廣告料金 ▲七字詰一行… 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

獨墺俘虜の危險

京城日報

此度露獨間講和條約成るや、露國內に散在する所の俘虜直に武裝し、日本若くは支那に對して戰ふべしと爲すものあり、甚だしきは西伯利亞に在る所の俘虜を以て、二軍團を編成したりとすら傳ふるものなきにあらずと雖も、永く僻地に流竄せられ且武器を有せざる所の俘虜が、遽かに戰鬪組織を編成し得るや否や疑問なるのみならず、露國過激派政府と獨墺軍人とが相一致して其事に從ふべきや否や更に大に之を疑はざるを得ず。

今日露國過激派なるものは、甚だ不思議千萬なる地位に在り、初め彼等は世間より獨逸の手先きなりと看做され、獨逸も亦彼等の政府を相手にブレスト、リトウスクに於て講和條約を締結したれども、其講和談判進行中に於て、早く既に兩者の間に感情上の大阻格を見はし、是より後過激派は、獨逸人に要られたるを怒り、獨逸人は過激派を以て共產主義無政府論を主張するところの危險物と爲し、獨逸の安全を保つ爲めに、此種危險思想の本源を一掃せざるべからずと爲す、近頃露國の消息を傳ふるもの、往々過激派政府最も獨逸俘虜を畏るゝの情ありと爲すは、職ち其故なしとせざるなり。

然れども獨逸の俘虜も亦甚だ奇異なる物となれり、由來獨逸人は其國土內に在る間は愛國心に强く、規律節制を尙ぶの風あれども、一たび其鄕土を離るゝときは、忽ち其處に同化し、殆ど敵國を忘るゝといふ特性あり、就中此度の戰役にて露國內に俘虜として抑留せらるゝ者は、夙に露西亞革命の影響を受けて、自他平等論、共產主義、非戰爭熱に動かされ、俘虜將校にして、革命の友を以て自ら居るもの之れ有り、過般歐露より歸還せむとする俘虜の一大部隊を、波蘭の一地方に留めて、其の歸國を許さゞりしが如きは、全く此危險思想を獨逸國內に輸入するを畏るゝに是れ由れりと云ふ、然れば西伯利亞に在るところの俘虜は其自由を得ると同時に、直ちに隊伍に就き、戰鬪に從事すると云ふが如きは、殆ど思惟し能はざる所の事たるのみならず、獨逸の將校士卒が、過激派政府の指揮命令の下に行動するといふが如きは、殆ど有り得べきの事にあらず。

尤も今日の露西亞は、混亂時代にして、黨派の關係、敵味方の差別すら明白ならず、ペトログラードと莫斯科とは、全く其趣を異にすることゝ、歐羅巴露西亞と西伯利亞とは、殆ど別天地なり、而して西伯利亞は混亂時代なり、個人若くは團體相共に掠奪を事とす、過激派と反過激派と相爭ふの間に、哥薩克あり、或ものは前者を助け、或ものは後者と共事を共にす、若し獨墺俘虜にして武器を提ふるものありとせば、亦哥薩克と等しく隨時隨處に其便とする所に從ふべく、解放俘虜にして其故土に還る能はざる者は、則ち戰鬪と掠奪とに依りて、衣食するの外あるべからず、支那の馬賊巴爾幹の『バンド』の類皆是れにして、獨墺俘虜にして、速かに其處を得ざるときは、世間復た新たなる一大厄介物を增加し來らざるべからず。

遊支偶錄

蘇峰生

(五九) 常に處して變に處せず

所謂る神智靈覺は、支那人の最も不長所也。否な比較的低級の氣轉さへも、餘りに利かぬ者多き也。勿論中には目より入りて、鼻より脫けるが如き、才走りたる者もあり。されど要するに、彼等の多數は、順風快潮の舟師にして、惡風激浪の水夫にあらず。

戰爭は蓋し人事に於て、非常の最たるものなる也。支那人が戰爭に適せざるは、其の平和的人種なるが爲めのみにあらずして、孫子の所謂る『善出奇者、無窮如天地、不竭如江河』なる能はざれば也。即ち彼等は練兵場に於て、好兵士たるを得るも、戰場に於て、好兵士たる能はざれば也。別言すれば、能く常に處して、變に處する能はざれば也。

支那人は本來、模型的人種也。彼等は自から其の模型を作りて、其中に因はれ、決して其上に超越する能はず、又た融和するを欲せざる也。支那の世愈よ降り、愈よ衰へたる所以の一は、實に古人の規則に束縛せられて、自ら活動する能はざるが爲めにあらずや。支那人と、英人とは、其の性格の或點に於て、頗る一致したるも、英人は支那人に比すれば、模型に全く因はれずして、能く模型を變化せしむ。吾人は變化と云ひて、破壞と云はず。何となれば英人は、其の元形を保存して、能く之を其時代に適合せしむ可く、改更すれば也。之を支那人が、模型中に醉生夢死するに比すれば、其の得失幾許ぞ。

古の支那人に奇關、獨造の能力を有したる證據は、六經諸子百家の文字に於ても分明也。此點に於ては、古の支那人は、世界に於て最も優秀なる、精神的出產者也。然も此の如き產物さへも、今は却て支那人を愚にする、桎梏となりて了れり、支那人現時の平凡生活は、今や殆んど支那人を驅りて、行屍走肉たらしめたり。

試筆　茶坪　土方直行

回思駑馬與年新。文久與人今幸人。米壽有纔一歲。蒼顏白髮求餘春。（茶坪今歲八十七、竊傚青年遺風、所以有承句也）

八十自述　敦亭　世良太一

迂拙早逃名利因。家無儲蓄未云貧。開窓覓句追蘇陸。淨几研經沿洛閩。但喜遐齡躋八十。寧容煩累役心神。聖明恩澤及衰朽。草木齊蒙雨露仁。

八十自述　松門　窪田畔夫

頑健方遭八十春。悶夢世態舊兼新。殷勤鄉黨稱吾壽。愧作昇平無用人。

九州視察團規定計畫

主旨　規定　行程　會費　注意

◎福岡市開催　九州沖繩物產共進會視察
◎久留米市開催　全國發明品博覽會見學

◇天の時地の利を得て日に月に增進發展し行く活氣橫溢の新九州を視察研究併せて福岡共進會久留米博覽會を見學す可く我社は觀察團の擧を決行す

◇團體は汎く全鮮に亙り智識階級の日鮮縉紳を網羅四月十五日京城發往復二週廿七日歸著旅中の汽車汽船は二等、旅館は各地共第一流を撰定せり

◇團體の歷訪地は視察＝見學＝遊覽の調節を圖り下關◇門司◇大里◇八幡◇福岡◇太宰府◇久留米◇熊本◇鹿島◇小倉◇中津◇耶馬溪◇別府◇大分等

◇會費は◇京仁團（京城發著）八拾圓◇西鮮團（平壤發著）八拾五圓◇湖南團（大田發著）七拾五圓◇南鮮團（釜山發著）七拾圓、應募諸氏は兩社經理部長藤村忠助及各地支局長宛申込あれ

◇觀察團主催に關しては紙上報道の外主旨＝規定＝計畫＝日程＝行程＝福岡縣人團＝地方人團等に就き詳細なる印刷物あり希望の方には直に發送す

主催　京城日報社　每日申報社

錺（かざり）

布施生譯

二十四

己は其時分丁度註文の錺を一つ拵へて註文主に渡したが渡して仕舞ふとさあ立ても居ても居られぬ位其錺がほしくて〳〵、己はそれでも最初の間は我慢に我慢して二階の居間に這入り齒を喰縛つて寢てしまつたが執念は却々そんな事で治まらず脂汗を流して床の中を轉げ廻つてゐると何時か耳許で怪しい聲が、殺せ〳〵あの錺は元來貴樣の物ぢやあ無いか、それだのに幽靈が貴樣のあの錺を著けてゐる、殺せ〳〵殺して取返すが可いと囃立てる、己は隨分長い間さう云ふ聲に抵抗して色々惡念を拂退けて見たが到頭堪らなくなつて床から飛起き短刀を一本懷に忍ばせて例の拔道を潜つて戶外へ出た、暗い片蔭に隱れて待つてゐると、好い御機嫌で錺を持て來る男、己は飛出して其男を後から抱緊る、男は叫ぶ、構はず用意の短刀をづぶりと胸に、之で錺は苦もなく己の手に復つた、

錺を取復して仕舞ふと今迄の己の惱は霽つた空が晴れたやうに一時にからりと晴上つてあれ位瞭々した事は前後になかつた、そこで己は初めて悟つたのだが己にはどうしても惡い星廻りが附いて廻つてゐる、其星の指圖に隨へば可し若し背かうものなら己は悶死のつまり自滅を取る外は無い、そう思附くと思懸なくこんな仕懸のある家が手に入つたのも何だか天道樣のお道引のやうに思はれて、いやさまさか天道樣が殺人のお手傳もなさるまいが、兎に角何かしら意味のある因緣事のやうに思取つた、それから其拔穴を便りに何人人を手にかけたらう、幸と狐のやうな出費の奴を先方へ廻しながら之迄一度も尻尾は抑へられず以後も抑へられやうとは思はなかつたのにまあどうした事だらう繩衛手前に惡皆種を擧げられて仕舞つた、どんな惡魔めが胸に宿つて手前が己の跡を眼ける氣になつたのか、どうして又手前の跟いて來る事が己に氣がつかなかつたか、己は永い間の熟練でどんな暗の夜にも虎や獅子のやうに物が見ね三四町遠方で囁き聲さへ聞わるのに如何した事かある夜に限つて手前の足音に氣がつかなかつた、こうなるのも繩衛畢竟は天道樣のお指圖、いや己の身に附いて廻つた惡い星奴の仕業だらう、手前もこうしてもう一度己の家へ歸つてきた以上は異逆下手人の殺人鬼のと己を訴へて出るわけにはゆくまい、なあに己だつてまだ滿更人間らしい心持の無くなつた次第ぢやあない、己が品物を誂へ主に渡す時に二の足を踏むのは誰でも知つて居り立派な人の註文を時々強情に斷るのは知れ渡つた事實だがそれは畢竟そう云ふ人を無駄に殺したくないからだ、どうだ繩衛此通り打明けて[illegible]すれば手前も異逆己をそんな[illegible]い奴だとは思ふまい、善心に[illegible]歸らう〳〵と思ひながら生れぬ先から結著いた、惡因緣にずる〳〵と引摺られる、思へば己は因果な男だ、繩衛手前己の話に納得が往つたか、納得が往つたら因果な己を少しは可愛そうと思つてくれ、さあこう洗ひ淡ひ話して仕舞つたからは序に一つ秘密室も見せてやらう殺人をして取復した寶の數も數へてくれ、そう言つて師匠は私をつれて圓天井を見せた秘密室へ這入りました

◎蘭船抑留事情

理由は不明也

…英本國の命令に據りたりとのみ…止めの理由に至りては差止めの屢々繰返されし由從つて今回の差止は必ずしも和蘭本國又は案外輕微の嫌疑によりて差止めらるゝに至りしやも知る可らずと云へり（東京）

東省實業株式會社株式募集

◎設立ノ趣旨

滿蒙ノ現狀ハ各種ノ產業ニ對シ資金ノ供給者信託業務及適當ナル產業經營機關ノ設立ヲ以テ急務トナス是ニ東洋拓殖株式會社ノ進出アリト雖モ同會社ハ猶ホ營養ノ大動脈ノ如クニシテ之レヲ實際ニ適合セシメテ運用ノ宜シカラムコトヲ欲セバ更ニ幾多ノ大小脈管ニ依賴セザル可ラズ本社ハ卽チ此脈管タル機關ヲ以テ自ラ任ジ各種ノ金融產業機關ト連絡シテ最モ簡便卑近且ツ適切ニ業務ヲ營マントスルモノナリ

◎營業科目

本社ハ日本帝國ノ法律ニ準據セル株式會社ニシテ左記業務ヲ營ムモノトス

一、各種生產品不動產其他確實ナル擔保アル貸附並ニ手形貸
二、各種生產品及不動產ノ賣買並ニ其仲介
三、諸調查鑑定並ニ設計
四、信託業並ニ保證
五、賃貸ヲ目的トスル家屋ノ建設
六、轉貸又ハ貸附ヲ目的トスル土地建物ノ買入及賣却
七、諸株式債券ノ應募引受
八、各種拓殖事業

◎本社ノ特色

本社ハ東洋拓殖株式會社及滿洲ニ於ケル一流金融機關ト聯絡シ其貸金ノ取次貸付ヲナシ一般ノ利便ヲ計ルト共ニ其間ニ介在シテ確實ニ利益ヲ收メントス

本社ノ株主ハ日支兩國人ニ限ル事トシ且滿洲各地ノ金融機關トノ間ニ貸出ノ擔保物タル事ヲ得ルノ了解アリ

◎本社ノ株式

◎本社ノ利益

本社ハ開業初年ヨリ一割內外ノ配當ヲナスノ確信アリ更ニ特記スベキハ本社ノ大株主タル東洋拓殖株式會社ハ一般株主ノ利益ヲ確保スル爲メ同社持株ニ對シ三ケ年間年五分ノ配當ニ制限スルノ特約アルコトナリ此結果一般株主ヘノ配當ハ增大スベシ

以上列記ノ通リ本社ノ事業ハ頗ル有利有望ナルヲ以テ發表前既ニ株式ノ引受申込ハ巨額ニ達シ卽時設立シ得ベキ盛況ニ在リシモ事業ノ性質上成ルベク多數ノ贊成者ニ株式ヲ頒タンコトヲ欲シ茲ニ參千株ヲ江湖ニ提供ス大方諸賢奮テ應募セラレンコトヲ冀フ

大正七年三月

奉天西六條街第拾八號地
東省實業株式會社創立事務所
創立委員長　庵谷忱

募集要項

一、資本總額　金參百萬圓也
一、壹株ノ金額　金五拾圓也
一、募集株數　參千株
一、發起人其他ノ引受株數　（總株數六萬株ノ內五萬五千株ハ東洋拓殖株式會社四萬貳千株ハ發起人及贊成人ニ於テ引受濟）
一、申込株數單位　拾株以上
一、申込證據金　壹株ニ付金貳圓五拾錢也
一、申込期限　大正七年三月廿八日ヨリ同月三十日迄
一、第一回拂込金　壹株ニ付金拾貳圓五拾錢也（證據金ヲ含ム）
一、同拂込期日　四月十五日
一、募入決定方法　應募株數超過ノ場合ハ發起人ニ於テ適宜之レヲ決定スルコト

發起人（いろは順　○印は創立委員）

大連 石本鏆太郎　大連 龍口銀行　安東 范先清　長春 西臨六　長春 李煥峯　奉天 王齋　營口 李稷八　奉天 王昂　長春 河田郎　奉天 勝田貞次郎　范家屯 孫有　奉天 上田衞　鐵嶺 松岡久吉　奉天 藤田佐郎　奉天 權太一吉　安東 向野親一　長春 道九堅雲　笹部一　式村手杉茂　周榮弟

○奉天 石田武亥　○大連 原田光次郎　奉天 原口閑一　哈爾賓 西宮房次郎　○安東 龍溫波　長春 王健極　○大連 和田良吉　京城 神成季吉　營口 韓相龍　營口 中辻喜一策　○奉天 內田寬衞門　京城 松井鎮右衞門　○長春 藤井小太郎　京城 高城宗舜　大連 古賀堂　○奉天 相生由太郎　昌圖 佐伯直平　長春 白山勇次郎　邵乾一

○奉天 庵谷忱　長春 馬越三堂　大連 西村郎　長春 劉金田　○旅順 大谷平　長春 王廷　大連 加藤吉　○長春 韓林　營口 染谷杏藏　○奉天 中野保郎　京城 釘本太郎　長春 藤田初次郎　開原 康藤市兼　吉林 古賀興二　天佐 竹日常松　岳名 佐郎　島名鳳十郎

贊成人（いろは順）

東京 一宮房次郎　營口 林平太郎　奉天 中和興業株式會社　大連 大倉發身　東京 加藤喜三助　京城 河井助　京城 吉岡之　大阪 村田太郎　京城 馬越久吉　京城 關本恭平　京城 公濟之助　東京 荒井司　大連 佐藤公治　京城 賓蘭次　京城 史輪英亭

花家屯 衣笠邦堂　長春 馬場鎭衞　開原 張玉純　大連 郭乘郎　長春 加藤學雄　新義州 米岡規治　旅順 吉村程雄　大連 中田敬吉　東京 倉知四郎　大連 藤原郞　安東 小林松郎　長春 永遠次誠　大連 佐藤銀太　安東 島亮舟

東京 服部金太郎　京城 西村多三郎　京城 大橋新太郎　安東 郭鍾正之助　營口 門田庄之助　東京 余村松誠治　京城 高橋源次郎　奉天 村田慶駒吉　長春 野澤一　東京 藤田甲　大連 福井式社　安東 阿部會吉　長春 託下銳吉　大阪 木株德　外百八十一名

一、株式申込取扱所　正金銀行在滿洲各支店出張所　朝鮮銀行本店及在滿洲各支店出張所　正隆銀行本店及在滿洲各支店出張所

定款起業目論見書、收支計算書及株式申込證印鑑用紙等各取扱所ニ備付有之候

斬新なる製造法と趣味に富める
三ツ矢キナ葡萄酒
は滋養。補血。强壯 純良の要素を備ふる事他に比類なき最善の强壯劑なり
三ツ矢人蔘ポートワイン發賣元
大阪新町　越後屋商店

購買入札
一、長靴及短靴
右購買ス入札希望ノ者ハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ヨ
大正七年三月二十日
警務總監部

東洋一の鮭

御旅行用 靴と鞄
內田靴鞄問屋

生徒募集
本科 五十名
隨意科 五十名
急修科 三十名
右至大正七年三月十四日募集す
京城三角町九一（朝鮮商業銀行後）
私立 實修裁縫學舍

最新刊
書名 著者 定價
德川慶喜公傳 澁澤榮一 一二〇、〇〇
向陵より社會へ 小野秀太郎 一、〇〇
千圓以下で出來る理想の住宅 鎌田賢三 一、五〇
政界の表裏 無名隱士 一、六〇
戰後の敎育 國民新聞社 四五
革命の巷より クロパトキン 一、三〇
獨乙の經濟的膨脹 一、五〇
獨逸の肉彈 獨乙大尉ヘツケル 一、〇〇
書簡に表はれたる汎獨政策 シエラダム 一、六〇
肉彈（縮刷） 櫻井大尉 七〇
西洋見物の旅行 末廣鐵腸 九〇
小生の手紙 大町桂月 一、三〇
會社商店必要なる商法釋義 九五
潜航艇圖說 西紀富太 六五
最新實驗化學 柏木 一、五〇
經濟哲學の諸問題 左右田 一、五〇
カチ〳〵山と花咲爺 武者小路 一、三〇
テニスの手引 多梅稚 四〇
大阪屋號書店

獨逸東漸と極東

▲黒龍江の艦船買收

浦鹽に碇舶中なる米國東洋艦隊司令長官ナイト提督は黒龍江に於る露人所有の艦船全部を買收したり右總噸數は六十五萬噸にして是れ露人が過激派政府に沒收せらるゝの虞あるより急遽買却するに至りしものなり右の結果として今や黒龍江の航行權は悉く米國の手に歸せり(浦鹽電報)

▲獨逸と條件履行

獨逸側は露獨講和條約批准の後條約の履行を監督する爲め委員を露國行政府に駐剳せしむ可しと聲明せり(露都電報)

▲支那浦鹽へ遣艦

支那政府は浦鹽に軍艦二隻を派遣することに内定せしを以て間磯を經たる上饒懐文氏を司令として直に出發せしむ可しと(北京特電)

○空中郵便物協議

佛伊兩國軍事委員は羅馬に會合し伊太利、佛蘭西及び巴爾幹間の空中郵便遞送の問題に關し協議したるが右計畫成立せば歐洲諸首都より巴爾幹沿岸と北亞弗利加沿岸との間に迅速なる通信を開始し得るに至る可し(巴里電報)

○羅馬尼後繼内閣

羅馬尼内閣總辭職を爲し前藏相マルギロマン氏後繼内閣を組織すべしと(倫敦電報)

○墺國議會大紛擾

墺國議會は食糧問題に付き紛擾を醸しつゝあり(倫敦電報)

○提供船條件通告

米國より回答あり次第確定

對米邦船提供に就ては既電の如くなるが其後細目中に二三の變更あり右條件決定外務省を通じて通告を發せるが其條件左の如し

提供船十五萬噸、運輸船六萬噸

▲船舶内譯 大阪商船二萬五千噸、東洋汽船一萬五千噸、三井一萬二千噸、山下一萬噸、勝田八千噸、岸本八千噸、辰馬七千噸、内田五千噸
▲傭船期間 六箇月
▲傭船料 四十志
▲傭船料差額 臨時事件費中より補償することに決定せり
▲傭船出港期 四月十五日迄
▲提供船齢 無制限

以上に對し米國側より回答あり次第確定成立す可し(東京特電)

○松方侯參内

松方侯は十九日午前九時品川驛着歸京し芝三田の自邸に入りたる後間もなく宮中に參内し御座所に於て天皇陛下に拜謁を仰せ付られ天機奉伺の後勅問に奉答し次いで皇后陛下の御機嫌を奉伺し終りて内大臣府會議に列せり(東京特電)

○本野外相參内

本野外相は十九日午前十時三十分參内 天皇陛下に拜謁仰せ付られ外交上の重要事項に就き伏奏勅問に奉答する所あり同十一時分退出せり(東京特電)

獨墺軍 軍港占領

獨墺軍はオデッサ港を占領せり(露都電報)

○北島博士動靜

北島醫學博士は十八日夜京奉線にて北京より來奉大和ホテルに一泊の上當地南滿醫學堂を視察し十九日夜八時發列車にて旅順へ向出發の筈なり(奉天特電)

市場問題と各地市場狀況(一)

京城商業會議所の計畫せる公設市場建設問題は屢々報道せる如くなるが左に京城商業會議所の調査に係る各地市場經營狀況を紹介し大方の一參考に供せんとす

歐洲諸國樞要都市に於ける公設市場は交通機關、上下水道、燈火等の諸設備と共に公益事業の一として都市經營の眼目となり居れり而して是等の市場は畜類市場、屠畜市場及び野菜其の他食料品市場を公有し都市自身直接經營するか又は公共團體と目すべきものに其の經營を委任しつゝあり我總督府が曩きに法令を發布し市場は悉く公共團體の手に委する旨を以てしたるは蓋し文明國の頻率に倣はんとしたるものなるべきを信ず京城の如き稍や大なる都市の體裁を備へたる地域に於ては其意義特に重要なり今各地市場の經營設備に付き述べんに

▲巴里市場 巴里の公設市場は現今世界第一と稱せらるものにして中央市場(卸賣)及び數十の小賣市場より成り居れり中央市場は千八百十一年の設立にかゝり千八百十七年改築を經て現今は十棟の宏大なる硝子張りの建物を連續せるが其の建築費一千九百萬餘圓敷地面積一萬三千三百餘坪を算す場内に小賣店あれども其の主なる業務は即ち卸賣にして巴里近郊より搬入せらるゝ市場物資は一切此所に集中し更に幾十の小賣公設市場に分配せらる若し貯藏を要するものは下層の巨大なる寄藏に收めらる此等中央及び小賣市場は悉く巴里市の手により

▲經營監督 せられ最も能く市價を調節し一般の市民の其の恩惠に浴するもの蓋し莫大なりと而して之等市場より得る巴里市の收入は年々八百萬法以上に達せり、歐洲に於ける公設市場は巴里の例を見るも其の建築費敷地設備其の他の點に於て直ちに京城の範とする能はざるべきも蓋し資する所多しと言はざるべからず

過激派と獨逸の政策

左流して止まざる露國の民心

露國より歸還せる 高柳少將談

露獨間の講和條約は十七日に批准された筈だが、之で愈々兩國の國交が圓滿に成るか何うか、露國は兎も角も過激派の天下であるから次で來るべき通商條約の交渉に際して過激派が如何なる態度を執るか、又獨逸の

◆對露政策が 何處まで辛辣に突進して來るかは、單り我國のみならず聯合國側の等しく注意を怠つてはならないことである、我國の西伯利に對する憂慮の如きも、之に依つて其根柢なり、程度なりが明瞭に成つて來ることゝ思ふ、現在のところでは、一口に云へば戰爭を止めたといふに過ぎないので、未だ兩國が味方に成り切つた譯ではない、縱し多少兩うした傾向が講和條約に表はれて居るにしても、兩國間に通商條約、又くは何等かの協約が成立した上でなければ

◆聯合國側の 露國に對する態度を決さるのに娛らか困るがありはしまいか、由て此際過激派の立場と獨逸の政策とを觀測するのも强ち徒爾でなからう、仍で先づ過激派の立場を見るに、極めてアヤフヤなものだ、最初革命勃發、リヴオフ公が革命政府を建てたのが民心の左に流れ出した始りで、ケレンスキーが取つて代つたのは更に左へ流れたのを證するものだが、當時迄は英國大使など心は、遂にレーニン、トロツキー時代を生んだ、恁うなつては流石の英大使も手がつけられまい、而かも左流して左まない民心は、共產主義にも滿足が出來ず、或は無政府主義者の跋扈する時節が來るかも知れない、勢の趨く處、絕對に推想を否認する事は出來ない譯だ、之は想像だが、現在に於ても國內各地の過激派が必ずしも一致協力しつゝあるのでも無い今でもウクライナに於て過激派と獨軍と戰鬪を續けて居るぢやないか、夫れからトロツキーの外相辭任も和條約の實を引くといふに在るのかとも思はれるが、誰れも善いとも惡いとも思つて居る者はあるまい、萬一あるとしても、ブレストに於ける講和談判の際に

◆獨逸の要求 を聞いて徒らに切齒扼腕した連中で、學固を振廻はすの勇氣は無いのだから役に立たない、即ち手を切られ足を拐られる位何でも無いことに一般は思つて居るのだ、民心は過激派よりも大分左流して居ると云つて可からう、過激派が各地思い思いに行動し、民心が過激派を後に殘して左へ流るゝのを防止し得なければ、何時迄現狀を支持し得べきかは頗る疑問と爲ければならぬ

然らば獨逸の對露政策は如何なるべきかといふに何人も想像し得る如く至極簡單に悉せる、自國に都合の好い樣にする、と是れだ。否斯うあるべきだ

◆既に俎上に 上せて居る、其露國に對して何の氣兼ねが要るものか、此だ我輩の言ふのはいづれ獨逸の政策は今後締結さるべき通商條約等に、少くも其片鱗を現はすであらうから、シカと注意して居なくてはならないと。

◎南鮮港灣の設備に就て(下)

新任群山府尹 矢野久三郎氏談

▲大邱 大正三年頃は僅かに停車場前に一小事務室を見るに過ぎず何等の設備もなかつた尤も當時大邱の貿易額は百七十萬圓位にて年額の三百五十萬圓に比し半額の統計に過ぎなかつた爾來鐵道用地に二棟を建設し事務室の擴大すると共に引込線を設けたのである、然るに順調の發達に依りて僅かに三四年にして一躍五百萬圓となり今日の平額の五百萬圓と對抗するやうになつた該設備に就いては更に適當の處置を採る積である

▲木浦 同地は何分港灣が不完全で不便少からず如何にして完全なる港灣とすべきかに就いて考究した全體其の港の貿易額を增進せしめやうとするには經濟力との均衡に留意せねばならぬ、そこで漸進主義を採り先づ荷役賃金の減退を圖り在來の澪筋を取り擴げ出來得る限り船舶を陸岸に近くるの計畫を樹て已に二年以前より工事の進捗を計りつゝあり昨年は漸進して約八百萬圓の貿易額となり群山の丸百萬圓に對抗する好成績を收めてゐる該工事の進捗と共に益々發展して群山と同樣に盛況を見る事は容易であらう

▲馬山 同地は地勢上釜山に近接してゐる關係上輸出貨物は殆んど鮮に依つて廻送され輸入は鐵道に依り殊に昨年の大阪商船の航路廢止と共に前述の狀態を反復さるゝであらう、併し衰微した譯ではないが同港の設備擴張は餘り必要はないと思ふ之れを要するに單に全鮮のみならず滿洲對外貿易は釜山經由の徑路を採るが最も適當なるものと思はれる、此處に於て單に政府のみに委せず民間に於ても設備に留意し兩者相俟ち相應じて益々旺盛を極めんとする貿易を助長して行く覺悟がなくてはならぬ(釜山)

◎內田大使通過未定

既電の內田大使安東通過は又復豫定變更し期日未定の旨其筋へ著電ありたり(安東特電)

◎鮮銀支店增設に就て

朝鮮銀行法改正案の議會に提出せられてより同行の滿蒙並に北支那に於ける活躍の狀況內地に周知さるゝに至り其保證準備發行制限擴張の如きは殊に一般の注意を惹き爲めに近く天津、濟南の外海蘭、赤峰、老少溝等に支店を增設すると共に更に進むで倫敦、紐育等に支店設置の計畫あるやの說を爲すものあり東京某新聞の如きも去十五日の紙上に此事を報せしが鮮銀に就き其實否を質したるに紐育には三月一日より代理店開設の豫定なりしも都合に依り延期し三月十日より業務を開始し從來出張員として同地に駐在せる安田司事店務を處理しつゝあり又倫敦も世界金融市場の中心として支店を設くるの必要を認め居れば或時機に於て之を實現することゝ成るべし併しながら赤峰其他の支店增設は[illegible]やも知れざれども今日迄の處何等詮議に附せられたる事無しと云へり

◎京畿道林野調査

京畿道に於ては三月十五日附を以て林野整理調査に關する告示を爲せるが右告示に據れば金浦、江華、坡州、長湍、開城、富川の六郡管內に於ける該當區域內の土地所有者又は緣故者は何れも申告用紙の交付を受け必要なる事項を記載し所管面長に提出すべく而して其期限は富川郡に於て四月十日、金浦江華の兩郡に於て四月末日、坡州長湍兩郡に於て六月末日、開城郡は八月末日と決定されたり尙土地の所有者又は緣故者は申告書提出期間內に土地の主要境界點に自己の氏名を記入したる標柱を建設し其疆界を明示すべしと

◎金泉物產會社出願

權泰英氏外十二名は今回金泉物產株式會社(資本金四十萬圓)の設立許可を出願せり其營業科目は海產物穀物類の委託販賣及び賣買、右營業者に對する資金貸付等なりと

◎赤十字職員囑託

今回石原新義州府尹は赤十字社義州支部長に、新義州委員長に深川鎮南浦府尹は同社鎮南浦委員長に中野大邱府尹は同社大邱支部副長に何れも同社長より囑託せられたり

◎李全北長官入京

全羅北道長官李軫鎬氏は十八日夜入京せり

◎南山商會組織變更計畫

東小門外に硫酸安母尼製造工場を經營せる南山商會は近く組織を變更し資本金二十萬圓の株式會社とすべき計畫の由なるが會社設立の上重役たるべき人々は多く大垣市に關係を有し同所に居住せざるべからざる事情あり勞々本社は大垣に置くことゝ成るべしと

◎公立小學校認可

扶餘公立尋常小學校及び松禾公立尋常小學校は本月十五日附を以て其の設置を認可せられたるが其の位置は扶餘小學校は忠南扶餘郡扶餘面官北里、松禾小學校は黄海道松禾郡松禾面邑內里なりと

人事消息

▲尾崎黄海道第二部長 十九日午前沙里院へ
▲矢野久三郎氏(群山府尹) 十八日午後入京
浦尾へ

■[illegible]■ 渦中邦人の目

[illegible]團が過激派と衝突してから一層邦人の間に好く其名を呼ばれつゝあるブラゴエチエンスクは大した名もない一市街だ▲處が此の市街には今迄百萬留以上の資產家がザラにあつた▲其から見ると浦鹽などは貧弱なもので百萬留以上の資產家と來ては曉天の星だ▲有り相でないのは金だが何處でも同じ事で開市街の住人等は外見は貧弱らしいけれど實は之だ▲一方から見れば卽ち之は西伯利の富源を現したものである▲黒龍江上流の砂金は既に名高いもので其よりも多くより大なる砂金產地はゼア河の上流である▲砂金と云へば我互に大きな處で米粒位に思つて居るが西伯利の砂金中には一塊で我四貫目位のが出る▲と云ば嘘の樣に思ふ人もあるかも知れぬが實際出て居るから致方がない▲而してブ市などで此珍らしくもない百萬長者の前身は大抵裸一貫で五十部の工面にも困つた連中である▲皆砂金や其他で苦もなく儲けたものだ西伯利の砂金と云へば斯んな珍談もある▲例の娘子軍が砂金を貯ひ溜めて郷里の天草に持つて歸つたら▲之は贋金で一匁が五圓もすると聞いて魂消た事もあつた▲之から定めて西伯利行が大流行であらうが牡丹餅は何時も棚にないから御用心々々

大阪財界便り

[illegible]炭價調節[illegible]したるも不結果になりし爲め炭價の暴騰調節には再び氣乘りせざるを訴ふるの道なき狀況なり隨つて小規模の工業は其影響の大なる爲め營業難に陷りしものなれば炭價調節は刻下の一問題たるべし[illegible]

[illegible]るが露國の大需要杜絕すると共に大好況時代は去り目下穩健の發展[illegible]

[illegible]十五萬枚中內地產二十七萬五千枚朝鮮二十萬枚支那及び米國其他よ[illegible]

[illegible]買需期に入り產地も從來の營業を解きて一齊に製織に着手し居る爲監期には一層に改良の傾向あり四五月の旺況を呈すべしと[illegible]何れも白洋丸を五月上旬に各出航せしむべしと

▲亞鉛板昂騰 米國貿易[illegible]

[illegible]

講談雜誌

四月號

改正定價 金十五錢 (本號より) 郵税一錢半 東京本町 博文館 振替東京二四〇番

大判一口話 微醉(深水選) 滑稽の四 ……伊東深水

義士銘々傳 長講……堂垣に入る……如燕

大石閑居 山科

落語 初音の鼓 ……柳家小さん

千日前 ……桂米丸

長講四十頁 ……身慄ひする樣な因果物語り

惡魔の按摩杉の市 ……神田伯龍

近江文治 高坂甚内 ……一龍齋貞山

寶井馬琴

おこよ源三郎……大好評長講連載 ……田邊南龍

梶井左膳の最後 ……

落語 さくら鍋 ……三遊亭圓左

南の國 ……柳亭小燕枝

島千鳥興津白浪……好評連載 ……錦城齋典山

瀨川栂之丞の親殺し ……米山

針ヶ崎の喧嘩

▲雜錄 ◎怪談二十一夜物語り……美二 ◎和歌 ◎俳諧 ◎其他小はなし總篇

破天荒廉價提供 御申込次第型錄呈進

陸海軍御用

○陸軍劍術教範制式
○銃劍術防具
○警察、學校御用
○擊劍術防具

製造販賣 東京市本所區林町二丁目

軍用機械合名會社

本所三三一六番 二五四二〇

最新刊

園藝界主筆 千葉晚香先生著

實驗果樹蔬菜園藝秘訣

定價一圓五十五錢 送料八錢

學理實驗を基礎とせる本書は學殖豐富なる本間農學士の校閲を經たるものにて生產物の賣捌方及利用法に多大の注意を拂へるは本書の特色たり是に本書は千葉縣君津郡農會より多大の注文を受け今又各種の學校及青年團等より續々御用を受けつゝあるは本會の光榮なり

圖書目録希望送料二錢

發賣所 橫濱市青木町 家庭園藝會

日本刀劍史上の一大權威

別役成義先生 上卷
今村長賀先生 下卷
遺著 劍話會編輯

刀劍鑑定備考

劍話錄

五百部特別限定出版 定價參圓半 送料拾六錢 領地四拾錢

◎大形布上製全貳册函入約七百頁

◎本書二卷は古來の刀劍に於けるあらゆる秘奥を正確詳密に傳ふるものにして而も其說述が日本第一流の鑑識家なるより見るも贅言を要せずして價値如何を知るべし同好の君子は速に一本を備ひ玉へ

鑑定家も愛藏家も必可備の珍書

東京牛込區[illegible] 發行元 昭文堂 振替東京三三四一〇

特約販賣所 大阪屋號本支店

火藥類取扱主任者至急入用

江原道邑內 火藥免許商 福榮商會

希望者は履歷書を仁川仲町共榮社へ送附ありたし

鰹節 銘茶 東京淺草海苔 ㊣ 仁川 青鳩商店

電話七九番 振替京城二六番

今回朝鮮總督府の御買上を蒙りたる

自轉車用 提灯挿

パイン萬年筆 電話 番

取締規則に適應し提灯携帶を容易ならしむべく新案特許を得たる圖の如く體形優美の金屬製なり

定價卅八錢 送料金二錢

京城太平通(電話三三〇番) 發賣元 京日代理部 振替京城三〇〇番

▲市內御一報次第[illegible]

京日案內

[illegible]五十錢一番外[illegible]

番外

●醫師一名及看護婦二名採用 但市內確實なる保證人を要す 本町一丁目 石田醫院 537

●牛乳配達夫至急入用 年齡二十以上三十迄 市內に保證人を要す 京城西大門外冷洞 東洋牧場 電九三六番

◎見習看護婦至急入用 希望者は來談あれ 京城明治町 久技肛門病院 531

▲金融 官吏教師へ秘密御用立 貸出御相談上候又御來談を乞ふ 京城本町五丁目 電話東[illegible] 北大和屋質店

●店員募集 滿廿才以上 但市內に保證人を要す(電話二三三五番) 永樂町二丁目 德田商會 542

社員募集 用務內外市內 ニユジランド火災保險會社代理店 京城永樂町二丁目 德田商會 (電話一三三五番) 541

電話至急讓渡 貸家 又賣家 南山有り望の地に周旋し引越荷ケ運搬を請負 旭町一ノ六四 電二〇〇一 佐藤商行 549

卒業生に告ぐ 本月二十二日午前十時卒業式 臨席相成度午後四時迄成績品展覽 京城公立商業女學校 548

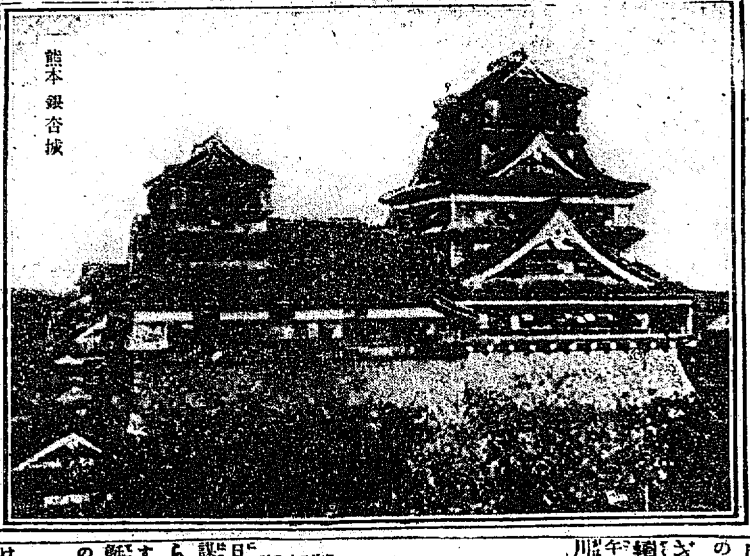
活字鑄造販賣 母型及附屬品一切 希望者は至急御來談あれ 京城明治町二丁目四十北村精美堂 547

社員採用 內勤外勤數名 希望者は自筆履歷書持參 四時より六時迄 太平通 黃金町二丁目[illegible] 才迄

恩給年金長期低利金融 京城若草町[illegible] 電話三〇壹番 西村商會 448

議政府 田舍行專門運送業 京城 電話二二九一 二二九〇 ㊁運送組

九州視察團寫眞帖（四）


熊本 銀杏城

◆時は陽春四月—花實併有

九州視察團の快擧（四）

◆日鮮縉紳諸彥の賛加を俟つ

＝水前寺清遊＝

本妙寺參詣を終りて、一行は直ちに騎軍熊本市街を橫斷し、遊覽地成趣園即ち水前寺公園に赴く。園は林泉の美、風致の妙、岡山の後樂園と併稱せらる。庭園は數寄を極め東方に富士山形の築山あり其麓を廻れる一流の泉は石窟の中より噴出し、水は洌冽眞砂の數も讀む事を得可し。園の北陰鬱然たる老杉に圍まれたる地域には、細川侯祖先の祠廟を營みて水前寺と命名せられ、南隅の池邊には亭榭並び連なつて遊覽の客を待つ。淸き池水は溢れ流れて南流書園湖に入る。湖中には一小島あり、松樹竹林密々翠綠淸水に映じて一段の景趣を添へて居る。

＝銀杏城見學＝

水前寺遊覽を終りたる一行は、午後六時歸程に就き研屋本店、同支店、綿屋、竹田屋、蓬萊屋等の一流旅館に分宿。翌二十日は午前正八時三十分迄に、銀杏城下御幸橋々畔集合、第六師團司令部に明石將軍敬訪後直ちに熊本城の見學に移る。銀杏城は市の中央にあり、今は第六師團司令部此に鎭す。城頭の中央司令部前に鬼將軍加藤淸正公手植の公孫樹あり、銀杏城の名蓋し之れに起因す。地は丘に倚り川に沿ひ櫓樓壁壘布置整正、久しく天下の名城と稱せられた。惜らくは丁丑の役、甚しく舊觀を損じたるも、孤軍圍く堅守して五旬の久しき、潮の如く寄せ來たつたる薩軍の攻圍に耐へ、逸り切つたる薩南健兒の西郷軍を挫折した事を思へば、淸正公の遺榮銀杏城の面目更に新なるを覺ゆるのである。

＝東肥より南薩＝

一行は五部に分れ將校連の先導說明に見學を終り、猶ほ標まりたる一場の講話を聞きて後、午前十時半迄に城下新市街の公會堂に入り休憩、十一時開會にて熊本官民有志の歡迎會に列席、正午散會、直ちに公會堂より騎軍熊本市を縱斷して、熊本驛より乘車薩南視察の程に上る。午後一時半八代を過ぐ、此地は熊本第二の都會なり、列車は之より球磨川の峽谷を縫ふて人吉を指す。球磨川は日本三急流の一にして、兩岸には森林鬱蒼奇巖聳立、幾十の隧道を過ぎて急勾配を喘ぎ上ぼる列車內より連續の勝景を指顧し得べし。午後三時人吉を過ぐ、市街は球磨川の上流に瀕し相良氏の舊城下なり。斯くて列車は肥薩の國境に聳ね立つ十數の峻山を貫通する、五十餘の隧道を突貫し、疾走午後七時、綠湖鏡の如き鹿島灣の中央に位置する櫻島の奇勝を、蒼然たる暮色裡に展望しつゝ、鹿島驛著、明治館、薩摩屋本店、同別莊、薩州館、潛航館等の一流旅館に分宿す（先發準備員白川生）

◎侮れぬ獨逸の手並

獨探を……操縱

大概の事は金の力で—惡辣な陰謀目の前に敵—日本海は何うか—大型潛航艇の航海力—封鎖を突破—常に先手

吉田少將、樺山大佐談

海軍軍令部吉田少將樺山大佐は十九日夜南大門通過歸順に向ひたるが東中兩氏交々往訪の記者に語る

日本では未だ曾て獨逸の惡辣な陰謀の爲めに苦痛を嘗めた事がないから獨逸勢力の東漸に對しても深憂する者が尠いやうだがなにも潛航艇や軍人が乘込んで來ないでも金の力で

▽大概の事は やつて除ける、早い話が過激派を煽動したり獨探を操縱しさへすれば敵國に對して什麼打擊でも與へ得る彼のバルチック艦隊の如き露軍隊の亂脈に乘じて重要な機械を取外させ殆んど用に立て無樣にして了つたと言ふ噂もある、又石炭の

▽中へ爆藥を 仕込んで時計仕掛で爆發させたり罐詰の中に同樣の仕掛をして軍需品の中に入れて軍艦に積込ませたりする事などは獨逸の常習手段とされてゐる、目の前に敵が來てから仕度に掛るやうな迂濶では戰爭は敗るに定つてゐる、近頃喧しい潛航艇の如きも

▽日本海出現 は杞憂に過ぎぬと言つて多寡を括つてゐる者が多いが船體を二つか三つに切つて西伯利に輸送し黑龍江の上流かオモロイ附近某地の造船所で組立てたならば世人が想像するが如く甚しい困難を感ぜずとも日本海に出沒させる事が出來る殊に況や陸軍に於てをや獨逸日頃の手並を知つて居たならば

▽安閑として 居られまいではないか、地中海で暴威を振つてゐる潛航艇の中には千噸以上二千噸位の大型のがあるが此等潛航艇の耐航力は實に二萬哩に達してゐる、幸にして東洋方面は我海軍の活動に依つて獨逸の根據地を奪つて了つたから燃料食糧の供給を受くる途がなく、此れの爲めに其活動の上に甚しい支障を蒙つてゐるが最近出來る大型潛航艇になると三十日間位ゐは何等補給を受けずとも航行する事が出來るから印度洋大平洋と雖も

▽仲々油斷が 出來ぬ彼の常陸丸を擊沈した獨艦の如きは英海軍の封鎖を突破して亞弗利加の南端から印度洋に出で數多の商船を拿捕して炭水の補給をした揚句擊沈し、十五箇月以上も暴れ廻つて獨逸に歸つた相ですが、敵乍らも驚き入つた度胸だ、恁うした強情不撓の魂を有つた獨逸の事だから、之れに對しても常に先手を打つ事に心掛けて居らねば飛んだ失敗を招くだらうと思ふ

京龍情死史（十）

呪れた運命

蛇の樣な男に附纏れた女の半生

殺して置て咽を突き腹を剔く

活動寫眞がはねた後は黃金町通りの電車は一二囘通つたきりであつた、靜かな春の夜は更けて雀の爲作が、通ふ千鳥の戀の

◆◆辻占 を張ある聲で歌つて行くのがしんみりした調子で聞ゆる『あなたのはなあに』『浮氣仕遂げて苦勞を仕遂げ恪氣仕遂げて添ひ遂げたオホヽヽ』辻占がいゝわ『あら妾のは待人來らず、ゲンが惡い……』お酒肴と書いた腰障子の中には襟足の白い女が三人、客待つ間を他愛もなく笑ひさゞめいて居た、そこへ『御免』と言つて入つて來た男があつた、年の頃は三十三

◆◆頰骨 の尖つた眼の鋭い男で、何處で呑だか熟柿臭い息を吐いてゐた『おいお文居るか—やい、お文—匿れたつて駄目だぞ、やい！』と言ひ乍ら足も千鳥の蹌踉と火鉢の傍へ寄つて來た『なにを言ふのさ逃げや匿れはしないよ』『アハヽヽ其處に居たのか……そうぎく\/怒るなよ是でも手前の前ぢや亭主關白の位だアハヽヽヽ』男は始めの怒氣は何處へやら急に

◆◆猫撫聲 になつて『お文手前にちよつくら話したい事があるー寸二階に來て呉んか』とお文の手を取らうとしたが女は其手を邪慳に拂ひ乍ら『用事があつたら此處で言ひなさい』『なにつ！……うむさうか』嶮しい眼光をぎよろつとさせて獨り肯いた男はやをらお文の前にどつかと胡坐をかいて『おいお文相談と言ふなあ他ぢやねえ俺に一寸方寸があるから

◆◆田舍 の方へ仕替て貰へてんだが』『何ですつて仕替しろつて、へん、二年前のお文なら御無理御尤もでお錆合したかも知れんが散々喰物にされた今日では其の手は眞平だよ』女はきつぱり言つて横に向いて了つた『一寸の間だおいお文腹も立たうが我慢して言ふ事を聞いて呉れ』執拗ねいくら言つても同じこつたよ、さつさとお歸りよ

◆◆乳呑 兒のある女房に酌婦稼ぎをさせて傍きながら始終ビイ\/して居るやうな男は亭主でもなんでも無いさつさと歸つてお呉れ』『おいビイ\/だと、おいお文宜くも此松本利一の面に泥を塗つたな』掛辨の緒が切れた—男は人の止めるをも聞かず巖嬿はずお文を亂打した揚句腰障子をも破つた前子戸をも壞した怒號と絹を裂くやうな女の叫びは深夜の黃金町通りに物凄く響いた

◆◆跣足 のまゝで逃げ出した女の訴へに依つて驅つけた巡査は暴狂ふ利一を取つて押へ引立てやうとしたが『俺は一歩も動かねえ畜生覺ねてゐろ』と棄白、女も今は居なかつた『蛇！蝮！狼！畜生獄の中で鰹つて了へ』と人目も憚からず罵ると男は『うーむ口惜しい』と言つたまゝ大道の眞中に坐り込んで了つた

◎佛國兵器廠爆發

佛國サン、デニーの兵器廠爆發し死者三十名負傷者多數を出せり（倫敦電報）

◎京都市會瀆職事件

京都市會議員瀆職事件の爲收監せられたる者十八名に達せり（東京電報）

◎五回判決ありし行囊金損害賠償事件

大正五年八月遞信局長官より大邱元町郵便遞送請負人大野鎰次郞を相手取り行囊金紛失八千七百圓の損害賠償訴訟を大邱地方法院に提起し第一審は原告遞信局側の勝訴となりたるが第二審は被告大野の勝訴となりたる結果遞信局より上告したるに高等法院にては二審たる大邱覆審法院の判決を破棄して更に該事件を再度大邱覆審法院の再審に附したり大邱覆審法院にて再審の結果遞信局側の勝訴として判決ありしより又も大野より上告するに至り高等法院にては二回此の事件を破棄して遂に京城覆審法院に移すに至り依つて同法院にては誰人として遞送夫牛島政雄、集配人富貴斎太郞を喚問する所あり愼重審理の末十九日結審し來る三十日判決の筈なりと而して遞信局側にては安住辯護士、大野側には大久保辯護士及び大邱の森島辯護士辯護に携はり居れり

◎平北腸窒扶斯流行

平安北道江西郡にては本年一月中旬より郡內各面に腸窒扶斯病流行し初發以來既に八十六名の患者を出せり執れが防疫方法としては各面に隔離所を設け巡査一名補助員一名を配置し附近の交通を遮斷し檢病調査消毒等には更に三班を組織し公醫二名を置き疑似患者は一旦收容所に入れ檢査の上隔離又は釋放しつゝあり

◎淸津地方降雪一尺

淸津地方は十八日夜より降雪あり積雪一尺餘淸津羅南間輕鐵は交通杜絕雪は猶降り續き居れり（淸津特電）

◎殺人鮮人自首

▲娘を惡評されて殺した

全南長城郡南面德星里崔成根（五四）は二月二十一日午前六時頃同面山馬鮮里崔永基方にて附近の呉孝善（三五）と夜を徹して會飲し孝善が成振に對し汝の娘は村の誰彼の差別なく密通し居る風評高しと惡評したるより大に憤り有合せたる木枕を以て孝善を亂打して遂に絕命するに至らしめたるを密かにその儘になり居たるが擢は苦慮に耐へ難く遂に此の程長城分隊に右の旨を自首し出でたり

◎相川氏判決言渡

光州日報社長相川保三氏は十九日大邱覆審法院にて懲役一年の言渡あり（大邱特電）

◎河合氏判決言渡

大邱民報社長河井朝雄氏は十九日大邱地方法院にて懲役一年の言渡あり

◎逃げた女

神戸市多聞通二の九貝本タミ（二九）は本年二月三百年六百圓にて木浦櫻町一の谷に抱へられ娼妓稼ぎ中木浦滯在の琵琶師原田旭秀と深くなり十七日午前五時頃兩人手を取りてドロンを極めしと（木浦）

▲必ず見なくてはならぬ
軍神乃木將軍の墓參の卷
廿一日限り
明日は晝夜
御誂仕り候
黃金館

◎徽文義塾卒業式

卒業生五十七名

私立徽文義塾第九回卒業證書授與式は十九日午後一時より同校講堂に於て擧行されたり本回の卒業生は五十七名にて優等生李鍾綸外二名に對し松永京畿道長官より賞品として『言海』一部宛を授與し塾主閔泳徽子一同に訓諭する所あり塾長卒業證書を授與し來賓の祝辭卒業生總代の答辭に次で生徒一同塾歌を唱し式を終る當日の來賓は金澤熙男外各學校長職員等なり

◎高普卒業式

高等普通學校にては二十三日午前十時より第八回卒業式擧行

◎進明女子卒業式

進明女子高等普通學校にては二十二日午後一時より卒業式擧行總督の告辭代讀ある由

◎三中井新柄陳列會

京城本町三中井吳服店は二十日より十日間同店階上に新柄帶セル洋傘の陳列會を催する由

◎旭愛會琵琶會

筑前琵琶旭愛會[illegible]にては來る二十日午後五時より本町二丁目[illegible]の家にて[illegible]を催す由

◎給仕募集

高等小學校卒業又は同等程度の素養あり身體壯健にして希望者は本人履歷書持參あれ

京城日報社

[illegible]倒しかるが大戰の前迄は未だ[illegible]動の樣子もなく殆んど反響も起らんとする傾向あり其他紡績會社の[illegible]する觀あるは要するに昨年大阪會に如き其影響を感ずる事勿論なるも[illegible]所を主として炭價調節運動をなし進んで主唱者となるものなきを以[illegible]

[illegible]七社に上れるが是等は安値時に先約長期取引を爲す能はず現在の高値を買はざるを得ざ[illegible]たるが要するに時局發展の爲めして大正五年大阪[illegible]商業の如きは前年より約十倍の大發展を示した[illegible]向き五十萬圓調帶皮用三百萬圓と共に遠からず自給の域に至る[illegible]民間及び靴底用七百五十萬、其他革細工用百五十萬圓にて原料皮革五[illegible]

▲夏織物强氣配 夏織物は依然關東側の註文[illegible]に續出せざる爲め未だ品薄に[illegible]ず隨つて相場は强含みにて製品も[illegible]

[illegible]天長丸、第二東洋丸の[illegible]ヤードクー[illegible]解約期につき代船として千代丸、大星丸、白洋丸を差替へ千代丸を三月下旬大星丸を四月中[illegible]

◎自轉車乘の大怪我

（大阪來電）

[illegible]七日午後六時頃木浦本町花月丸十[illegible]したり直に木浦病院に擔ぎ込み治療の結果漸く蘇生し金は救濟所に負傷[illegible]

星印ソース

今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる

本品は其品質と實行とに於てソース界の明星なり

全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す

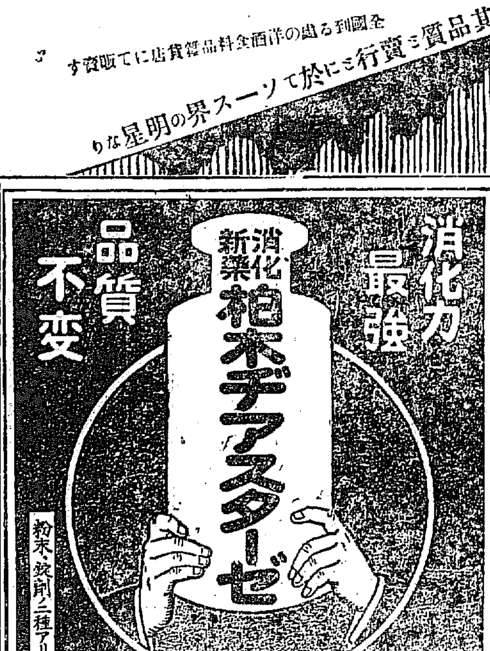
發賣元 大阪市 祭原伊太郞

內科 胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目 石川醫院

電話一三九〇・二七二九番



人事百般 周旋業

京城府明治町貳丁目 萬年社 電話長一八四四番

發賣元 大阪 東京 藤澤友吉商店

各地藥店にあり

No.17

優等淸酒

廣島縣西條町 醸造元 木村靜彥

京城府鍾路（中央市場） 發賣元 河野酒店 電話二三〇八番

鑛物分析

京城府町一ノ七一 鮮滿工業社鑛務部

廣告

專賣特許內外實用品消費優美遠近男女自宅出來年中休機具一切貸與し熟練日收壹圓

製品買受契約○特約店募集

[illegible]本久買受[illegible]明見本八錢要⑤大阪北區福島中九丁目電停留前 一葉商會本店

てんかん

病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れば永年の病も自宅でヒミツに治療する事の書た詳い本を無代進呈す

名古屋市南小川町一 救生館

◆世間に廢物は無い

必ず何かの役に立つ

廢物利用といふ事は何れの場合に於ても務めねばならぬ事であるが化學工業に於ては特にこれが其の生命である今其の理由を簡短に御話ししようと思ふ近い例を揚げれば臺所は家庭の

◇化學的製造場 であつて此所から出る塵芥は少からぬ量であるが是等は毎日取り去られるから大した差支を生せぬ樣なもの丶若し是が一年間も蓄積するならば家の周圍は全く芥捨場と化して不潔惡臭は迚も堪へられたものであるまい。之と全く同樣の譯で化學工場に於ては有用な生産物は出來るに随つて市場に送られるから溜るといふ事はないが廢物は賣る事が出來ぬ爲めに次第に蓄積して其の處分に窮する樣になる。瓦斯工業に於けるタールの如きは正に其の適例であつた。瓦斯工業は煙管で煙草を吸ふ樣なものであつて煙草は煙管の雁首に於て蒸燒きにせられ是より生ずる

◇煙即ち瓦斯を 吸うて喫煙家は快を取るのであるが瓦斯製造所に於ては石炭を蒸燒して瓦斯を造り鐵管で之を使用者に送るのである。而して恰も煙管に脂の溜る樣に瓦斯製造場にはタールが溜るのである。タールは煙管の脂と同じ樣に惡い臭を持つた不潔な物であるが煙管に溜る少量の脂ですら喫煙家には少からぬ不便を與へる日々生ずるタールも多量であつて多量の石炭を蒸燒する工場に於て其の除去に多くの手數を掛ける。で五六十年前には大に其の處置に窮したものである。然るに幾多の化學者の研究によつてタールより數多の

◇有用な成分を 取り出し無數の染料、香料、藥劑、爆發物などを製造する樣になつた。單り瓦斯工業ばかりでなく製鐵其他の目的に多く使用せらるるコークス工場で出來るタールも同樣に利用せられる。現今全世界に於てタールより製造する諸物質の種類は數億圓に上つて居る。廢物の中には河川に放流せられ之が爲めに水中に腐敗を來し大害を生ずる爲めに物議を醸すものが往々ある。木材より製紙原料パルプを造る工場の廢液の如きは其の一例であるが是も近年利用の方法が種々に考究せられ其の中に含める

◇糖分より酒精 を製造する試みもある。又工場の廢物中には氣體として空氣中に放出せられ附近の植物及び人畜に害を及ぼすものも少からずある百二十餘年前佛國革命の時に發明せられ其後英國に於て盛に行はれたルブラン式曹達製造法に於ては先づ食鹽に硫酸を働かして芒硝を造るのであるが此際多量の鹽酸瓦斯を發する。昔時は此の鹽酸を空氣中に放出した爲めに工場附近の田園の被害は大したものであつたが此の瓦斯を水に吸はせて鹽酸を造り更らに之より晒粉を製造するやうになつた

◇曹達製造法 には其後ソルエー法の發明があつてルブラン法に大打撃を加へたがルブラン法が今日に於ても猶ほ餘喘を保つて居るのは鹽酸其他の廢物の利用がよく講ぜられて居るからである。金屬の鑛石には銅鑛、鉛鑛、亞鉛鑛などには金屬と硫黄との化合物が重なるものであるが是等を精錬して銅、鉛、亞鉛等の金屬を造る場合には多量の亞硫酸瓦斯を煙と共に空氣中に放出する。而して亞硫酸瓦斯は植物に對しては毒作用の極めて強いものであるから所謂煙害問題を惹起し農民は被害に苦み精錬所は産額を制限されて居る此の煙中の

◇亞硫酸瓦斯も 一種の廢物であつて之より硫酸を製する方法は既に行はれて居るのみならず硫黄を製取する方法も既に講究せられて居るから鑛山の煙害問題が一場の昔話となるも遠い事ではあるまい。是等はホンの例證に過ぎないが何れの化學工場に於ても廢物の利用を講じて居らぬ所は殆んどない。廢物の利用は工場自衞の爲めにも必要なものである。又廢物利用の可能なる理由も最も明白である。何となれば諸物質は皆八十餘の元素の中より數元素の組合せで出來て居るのであつて普通の物は二十餘元素間の組合せで出來て居るが此等の元素は何れかの化合物として必らず有用な物である。然るに廢物も同じ元素から出來て居るのであるから其の結合の形を變へさへすれば必らず利用し得べき物となることは明かである(理學博士池田菊苗氏談=東京)

日報歌壇

本間蘂月

■郊外より

運命のはかり知られざるを思ひつゝ芝山すゑの春の路なづみて來れば この朝げそよ吹く風も身にはしむなり

七面鳥今朝さむければ庭なかすがら羽をひろげずたゞなりにけり

ものみなのしづもろわした[illegible]心いたけり、行く郊外

日報俳壇

■酒幕吟社詠草(黄海道新幕)

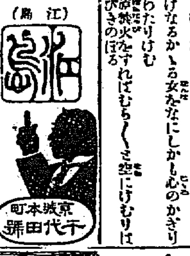
火事

海の上に焔廃ゆる船の火事 花翁
遠火事に雲爛れたる端山哉 同
寺一字盛りし村の大火哉 要村
火事跡に高く殘る寒き夜明哉 萬星
山火事や大湖に焦す日數哉 碧天涯
明け空に流る大火の煙哉 紫幽
風折々煽る色や火事の跡 紫川
蠢火事を見て居る廊の女哉 味清
火事やみて雀さわぐ夜明哉 樂
山火事に見透く丘の冬木哉 同
一つなき空焦す大火哉 鐵
火事の炎が舐る町の大樹哉 同
山火事の焔が動く障子哉 香仙
夜空飛ぶ斷れ雲赤き火事場哉 同
山火事の火の粉亂るる湖畔哉 春草
火事見舞提灯赤き月夜哉 同
火事跡に夜番講ずる焚火哉 同
大空に焔渦巻く大火哉 逸明
火事跡掘れる人等に月出し 湖創
山火事の峰より峰に移る哉 方水
竹風
同

■黎明俳句會詠草(仁川)

硝子窓に春惜しき寒き日影哉 天月
氷解けて芥浮べる溜かな 夢の助
海粗朶散らつく魚や春淺き 鳳雛
故郷の戀しき夜を歸る雁 水月
懷しき友の便りや春の宵 しげる
ユラ〳〵と棄屋の煙春の朝 曉陽

技術紹介 (江島)



つらさひし日とびてあればひやゝかに笑みつもたせる人のかげ見ゆ
川の岬のこゝな樹れにさう〳〵と水は音たてゐたりけるかも
なめげなるかゝる女なにしかも心のかぎりつかひたりけむ
小路の家に火をすればむら〳〵と空にけむりはたなびきのぼる

京城本町 千代田號

新刊紹介(到着順)

▲半島文學(三月號) 半島文壇の花形たる中村島堂、清本浮萍、小野山羊庵、角田不案、高須賀獸氏及び小野山竹吟、岡崎良氏等の評論、歌集、小品、句評、雜録等を集めたもので何れも脆ぞろひの藁であるから謂ふ迄もなく隅に生き〳〵した清新の氣が紙面に溢れて居るのは何より喜ばしい事である、表紙畫は古賀旗榮氏、題字は中村島堂氏の揮毫に成れるもので是亦た内容にふさはしき高尚な出來榮である(十五錢京城南山町一の六其社)

▲柔道(四の三) 柔道に關する有益なる面白き記事を蒐む、重なる讀み物は嘉納治五郎氏山下永岡村上本田宮川石黒氏其他の講話及び何の爲に柔道をやるか(飯塚七段)柔道の研究(三船六段)門外觀(岡倉高師教授)柔道部長となつて(代家早大教授)不知庵[illegible]等なり(二十錢東京小石川大塚坂下町講道館)

▲新布教(五六) 佛教各宗大學その他知名の宗教家の執筆に成る有益多趣味の記事頗ぶる豐富なり(十五錢京都六條中珠數屋町から寸丸東入法藏館)

結者の領分

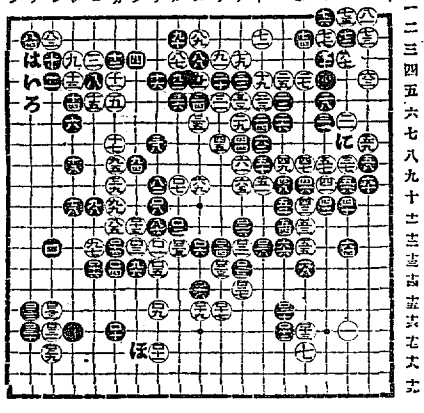
▲十六日の夜一時半頃本町より支那領事館前の小路に厭やで厭やですよ〳〵ネー厭やですよと云ひつゝ暗に姿を沒せし男女あり(本町娘看)▲十五日正午より一時迄の間に三越商品切手二枚皮財布○圓在中の縮緬ふくさ包遺失御ひろい被下候節には此の欄まで御知らせ被下度相當の御禮仕り候(某女)▲大正館の新派喜劇は非常によく出來た此後は身投劇等は成るべくはぶいて軍事劇其の他喜劇にして頂きたいものです(狂活)▲京城動物園に休日が有るさうですが何曜日でせうか紙上でお知らせを(愛讀者)▲月曜日に木曜日(係り)▲釜山愛讀生に告ぐ吉野町とは無論京城の吉野町のことなるべしとは思はるゝも當時同町に於ける宮本なる者必ずしも一に限らざりしなれば之に御答へ致すには御記事餘り簡單に過ぎ何人が果して御尋ねの當の本人たるべき歟否大に苦むところなり更に具體的と云ふ迄もなく少くとも貴姓を掲げられ今少し判斷の付く程度にて御再記あらんことを望む(某宮本生)

碁の戰

十番碁第八局の(完)

三段 山平壽氏
二子 大久保雅彦氏

○一二一 チの十二
●一二二 チの十四
○一二三 リの十三
●一二四 リの十二
○一二五 ルの十二
●一二六 チの十一
○一二七 チの十四
●一二八 トの十三
○一二九 レの十七
●一三〇 ソの十六
○一三一 レの十六
●一三二 ソの十四
○一三三 レの十五
白中押勝



碁評 ▲黒十は此場合十三に粘ぎ白十黒十二白(い)黒(ろ)白(は)となりて外に着點を轉向すべきものとす(に)若くは(ほ)に大斜走するなど好著點たるを疑はず▲黒二二惡し三十に頂けるの通常手段に出づべし▲黒五六は五八に頂け引きするのが手順なり▲白六三は六五に確と粘ぐ方可なるべく其時黒二一に打ち來らばロ二八に門すべし▲黒六四甚だ緩漫なり此一手正に全局を誤りしもの六五にあて丶打ちしならんには前途頗る模糊として甚だ面白かりしならんに黒七十は倫思ひ遲ひなるべし益々不利を醸して局勢を早めたるは惜むべし

大阪株式 [illegible] 一八六四〇 一八六〇〇 一五〇八〇

俘虜八萬は日本兵に對抗する目的を有し以て二軍團を編成せんとし別に獨兵團をも組織せんとしつゝあるらしく事實ならんも武器彈藥其他軍[illegible]を張せるに非ず即ち獨墺俘虜が[illegible]の出兵を促進せしむるが如き[illegible]の計畫を以て進みつゝあるは恐るべき行動を取てすべきや否やき[illegible]素より何等保すべからず西比利亞諸河川の解氷するに至らば鐵道以外に[illegible]つゝあるのみならず最近露軍より[illegible]しき砲、自動車等を幽獲し香港に於て和蘭船六隻抑留せられ同時に新嘉坡に於ても蘭船の出帆を悉さず而已ならず香港に於ける六隻の抑留も果して[illegible]の湘を通じて敵國側に食糧[illegible]

男女強壯劑 GOSPEL ゴスペール

陰萎にゴスペール本劑は肉體の營養強健を主眼とし植物性補腎新劑にして其主効は生殖器神經に作用し左記生殖器障害に實試上有力なる陰萎增勢藥なり今夜に用ひ一回一用量僅に一錠

適應症 神經衰弱性陰萎 精神的陰萎 衰弱性射精・早漏・夢精・遺精

(發賣)九錠入金一圓(郵廿一錢)三錠入五圓五十錢 百廿六錠入十圓

特約販賣所 竹島製劑所 東京市下谷區長者町三九五七 振替東京 吉田萬珠堂

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 院長 酒井一郎 電話 一八〇番 二六〇番

滿七歳以下の小兒解熱藥 オイン 理想的のかぜねつさまし 御子達ある家庭の必備藥 本舗 大阪 東京 丹平商會藥房 小兒に服用し易く副作用なき高貴藥を配伍す 定價 三十錢

眼科專門 入院隨意 江頭眼科醫院 京城明治町東拓横(電話二〇四四番) 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

醫化學諸器械一式 (K) 仁川本町 北島藥店 京城本町 北島藥店支店 電話 [illegible]

藥種賣藥卸商

皮膚科 皮膚病 黴毒 淋病 膀胱 生殖器 機能障碍 入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元町二) 佐藤醫院 電話一七三一番

痔疾專門 入院隨意 京城 久枝肛門病院 京城明治町二丁目本町より入る中程(電話二一〇二番)

醇良無双清酒 衛生無害品質無双

發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番 釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

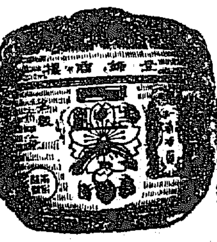
株式會社 第一銀行京城支店 資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千貳百貳拾萬圓 總預金 貳億貳千六百萬圓 支配人 西村道彦 京城府本町二丁目(振替貯金口座京城一一番 電話二一番六二番三三一七番)

LEGUMON 新滋養劑 レグモン

肺結核、慢性腎臟病、糖尿病、乳汁分泌不足、熱性病並に其恢復期其他一般病中病後の衰弱に對して最も有力なる營養增進と強壯の効を奏する代表的國產滋養劑

定價 百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢 說明書無代呈 大阪市東區道修町 一手販賣元 武田長兵衛

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗

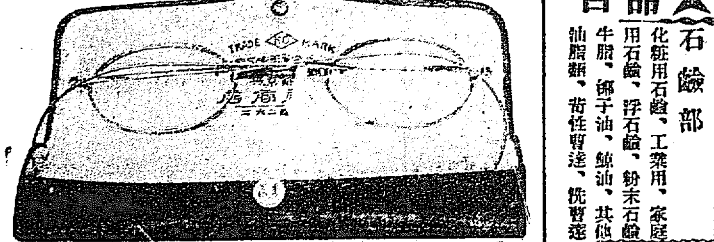


京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 八四一番 九四四番 振替京城五七番

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料 石鹸部 化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

朝鮮肥料製造所 京城東大門外紅葉町 電話二六三五番

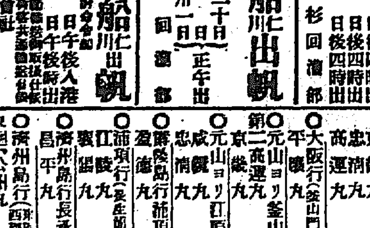
朝日石鹸製造所 京城岡崎町一四番地 電話二五六四番 電話二九七三番 振替口座京城一〇〇四番



アメリカ製金張眼鏡 十ケ年保險附サック入玉付 一金四圓 送料十二錢 五ケ年保險附 同上 一金參圓五十錢 送料十二錢 但し度數玉は何れも別 金五十錢申受候 京城大平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

撫順炭特約販賣 京城府龍山京町 實榮商會 電話一〇七番

外城龍山等各地に販賣所有御注意 りん病ばい毒 にせドラッグあり御注意



近來京城其他各地に偽ドラッグあり勝手に[illegible]あれ當京城に於ても左記以外にドラッグ商會と稱する者あらばそは全く當商會の商號を盜用する詐欺漢なり 花柳病專門藥房 ドラッグ商會 京城南大門外 京城黃金町三丁目 東通大阪ドラック商會

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
神代丸 三月廿二日後四時出
秀吉丸 三月 日後四時出
君代丸 三月 日後四時出
大有丸 三月 日後四時出
仁川海岸通三丁目五十九番 電話 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行、天津行
相模丸 三月二十日
三河丸 三月 日
高砂丸 三月卅一日 正午出
仁川海岸町十一番 電話 堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行
共同丸 三月 日午後八時出港
共同丸 三月 日午後時出
阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取扱店 河村運送店

釜山出帆廣告

汽船
門司、神戸、大阪行
和歌浦丸 月 日後五時出
立神丸 月 日後五時出
元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸 月 日後十時出
立神丸 月 日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天異丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 三月 日後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 三月廿二日後六時出
釜山港埋立新町 本社取扱店 大池回漕部

大阪商船株式會社汽船出帆廣告

仁川出帆
神戸大阪行(群山寄港)
須磨丸 三月廿四日後五時出
日清丸 三月 日後五時出
△船川丸 三月 日後五時出
×安東丸 三月二十一日正午出 木浦、釜山、嚴原、鄉ノ浦、長崎行
×安東丸 三月 日 鎮南浦、神戸大阪行
須磨丸 三月廿四日 正午出帆
元山出帆
西湖津城津新浦清津行
安平丸 三月二十一日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸 三月廿七日後九時
大連出帆
上海、基隆、打狗行
湖北丸 四月二日前六時出
基隆丸 月 日後四時出
內地各港出帆主要航路
南米行 一年四回
濠洲行 毎月一回
北米行 毎月二回
孟買行 毎月一回
南洋行 毎月一回
御注意 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二〇番 五番 京城代理店 [illegible]

朝鮮郵船出帆

本社 電話一九五二番二三三番
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城南大門通 松原運送店
○關門より釜山各地經由雄基行
但し×印あるは江原道寄港せず
第二高運丸 月 日
咸鏡丸 月 日
×京畿丸 月 日
忠清丸 月 日 釜山發
○元山より北鮮各地經由雄基行
京城丸 月 日
慶興丸 月 日
京畿丸 月 日
忠清丸 月 日
高運丸 月 日 元山發
○大阪行(釜山門司經由)
平壤丸 月 日 釜山發
○元山ヨリ釜山瀧門行
第二高運丸 月 日
京畿丸 月 日 元山發
○元山ヨリ江原道寄港釜山瀧門行
咸鏡丸 月 日
忠清丸 月 日 元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由
盈德丸 月 日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸 毎日
襄陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 月 日 釜山發
○濟州島行(西歸浦ヘ・東歸浦ヘ)
東廻、公州丸 月 日
西廻、慶興丸 月 日 木浦發
○釜山、麗水、巨濟丸 毎日釜山發
海州丸
統營丸
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
天丸 三日目毎ニ
南陽丸 修繕中 木浦發
○木浦ヨリ多島海各島行
慶興丸 月 日 木浦發
○仁川木浦行(群山其他各地經由)
晉州丸 月 日
金海丸 月 日 仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸 毎日
南陽丸休航 仁川發
三十一日ハ休航
其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ
○商島行(芝罘、大連經由)
江原丸 月 日 仁川發
○濟律行(大阪神戸門司より)
慶平丸 月 日
釜山發 月 日 元山發